

茅ヶ崎市景観計画年次報告書 2019年度～2021年度版

Town Scape Planning of Chigasaki City 2019 - 2021 Fact Sheets

目次

1	報告書について.....	1
2	ゾーンごとによる検証	7
	2-1 北部丘陵地域景観ゾーン.....	8
	2-2 中部地域景観ゾーン.....	22
	2-3 海岸地域景観ゾーン.....	30
	2-4 中心市街地景観ゾーン.....	47

2022年3月

1. 報告書について

報告書について

茅ヶ崎市景観計画（計画期間：2018年度（平成30年度）～2027年度（令和9年度）、以下「景観計画」とする。）では、景観まちづくりの目標の達成度を測るために、計画（Plan）⇒実施（Do）⇒評価（Check）⇒改善（Action）のPDCAサイクルを確立させ、計画の進行管理を行うことが位置付けられています。本報告書は、景観計画に位置付けられた事業について、年度ごとの進捗状況を取りまとめたものです。

計画立案（Plan）

① 景観計画の変更等



事業実施（Do）

② 事業計画に基づき事業の実施



進行状況の検証（Check）

③ 景観まちづくり審議会へ報告又は検証



計画改善（Action）

④ 事業改善
事業計画の見直し



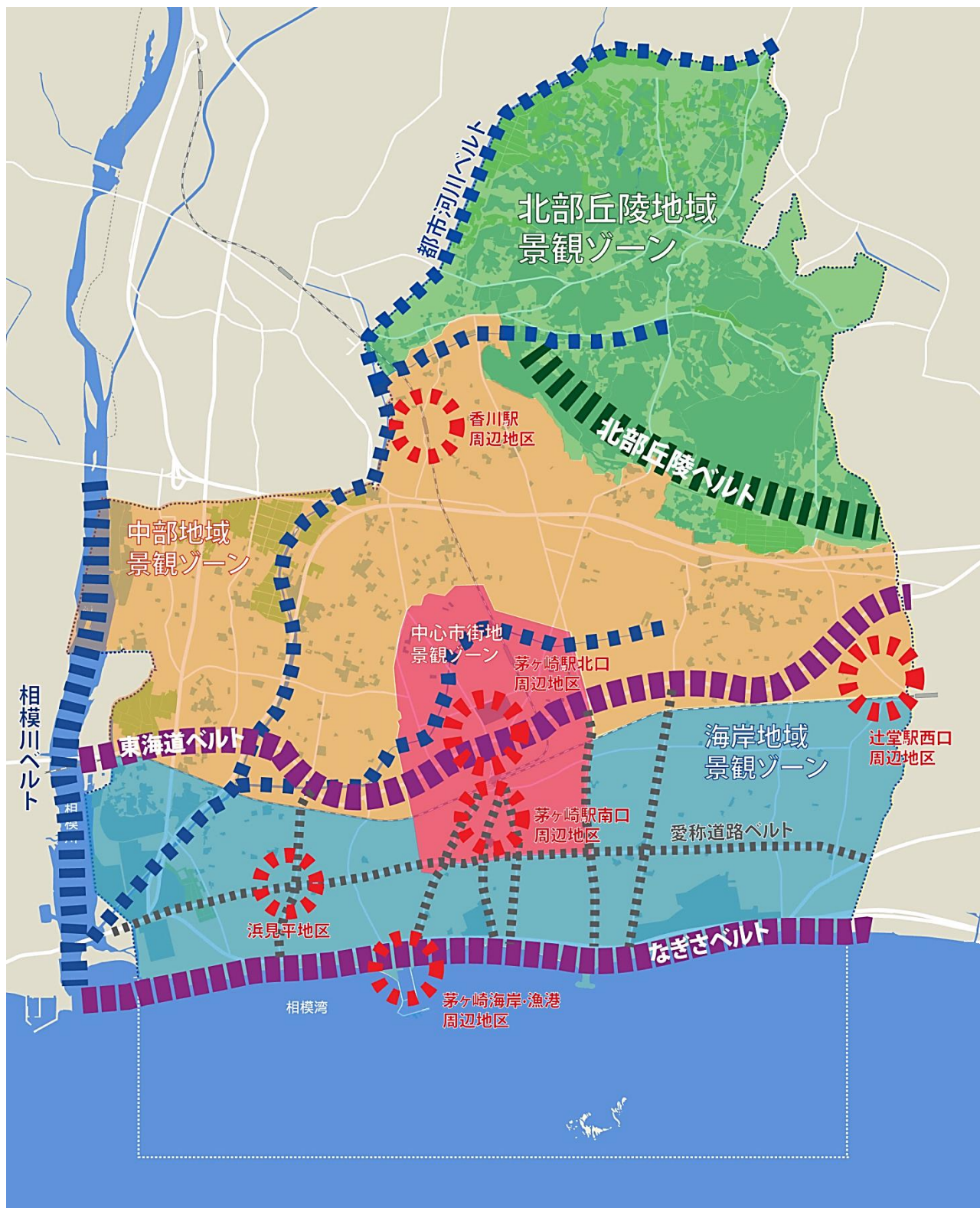
検証の方法

景観計画では、計画の進捗管理として、計画期間中の5年目に中間評価、10年目に総括評価を行うこととしています。評価は、次頁に示す4つの景観ゾーンごとに「10年間で行うとした具体的な実施事業進捗の確認」及び「定点観測」、「観察日誌（過ごし方調査）」について行い、庁内、景観まちづくり審議会による2段階の検証を行います。

本報告書は、中間評価、総括評価に向けて、年度毎に実施した事業内容を取りまとめたものです。

評価	前期（2018～2022年度） （平成30年度～令和4年度）				後期（2023～2027年度） （令和5年度～令和9年度）			
定点観測	毎年度、定点観測の実施							
観察日誌 （過ごし方調査）	施設の供用開始後、実施							
事業進捗	● 進捗の確認				● 進捗の確認			
中間評価 総括評価	年次報告書の作成 ● 中間評価				年次報告書の作成 ● 総括評価			

景観計画では、茅ヶ崎の地形的なまとまりを基に、市域を4つの景観ゾーンに分類し、各ゾーンごとに、地域の特性に応じた方針を設定しています。そのため、事業進捗の確認はゾーンごとに行うこととし、ゾーンごとの方針に基づいた事業進捗が図れているかを確認します。



定点観測とは

定点観測とは、観測する対象を写真に収め、経年変化を見るもので、眺望などの保全状況を視覚的に確認するのに有用な手法です。基本目標として掲げた「景観資源と眺望を守り、継承する」の達成度を測るため、実施しています。

本市の景観形成上、重要な箇所として位置付けた「景観ポイント」及び「眺望点」を対象に、定点観測を行い、景観が守られているかを評価しています。

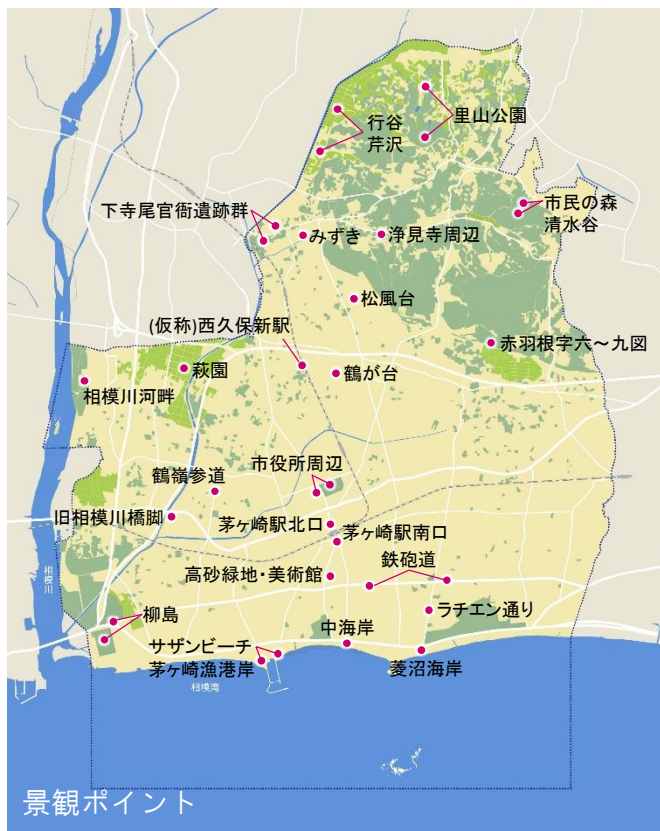


前景観計画の景観ポイントより

景観ポイントと眺望点における定点観測と結果

本市では、24か所（32地点）の景観ポイントと14か所（16地点）の眺望点を設定しています。これらについて、景観計画策定以降、毎年度、定点観測を行い、その経年変化を確認します。

本報告書では、当該期間中に変化が見られた箇所についてはその内容を記載しています。



景観計画にある観察日誌とは、観察者が現地に赴き、人の行動をつぶさに観察した上で、公共施設の整備効果や公共施設等の設計にあたり配慮すべき事項を把握する調査です。本調査の特徴は、満足度調査などアンケートでは把握できない、人の感情や無意識の行動パターンなどを実態から把握できるところにあります。

本調査により、基本目標「屋外の生活を楽しめる空間をつくる」「茅ヶ崎の価値・魅力を体感できる機会を創出する」を達成しているか把握するため、再整備や新たに整備した空間が、遊び、会話など人の交流の場となっているかを観察し、整備前後等の状況を比較し確認します。また、行為の届出、公共施設のデザイン指針等に参考すべき知見を整理し、適宜、計画に反映します。



公園の使われ方



道路の使われ方

調査表

利用者の滞在時間、属性(人数、世代、性別、服装)、行動を記録します。

滞在時間					訪問者概要(性別、人数、年齢層、服装)										見られた活動										行動の詳細			
1	10:20	～	10:25	0:05	高齢者	男性	1	人	女性	人	70	代	■	私服	:	□	スーツ	スマホ携帯	□	会話	■	待合せ	■	眺めている	□	飲食	□	待合せの様子
					大人	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	遊び	□	読書	□	寝る	□	散歩	□	ランニング	□		
					子ども	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	その他	□	:									
2	10:25	～	10:26	0:01	高齢者	男性	人	女性	2	人	60	代	■	私服	:	□	スーツ	スマホ携帯	□	会話	■	待合せ	□	眺めている	□	飲食	□	道で立ち止まり、会話。
					大人	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	遊び	□	読書	□	寝る	□	散歩	■	ランニング	□		
					子ども	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	その他	□	:									
3	10:45	～	10:46	0:01	高齢者	男性	人	女性	1	人	60	代	□	私服	:	□	スーツ	スマホ携帯	□	会話	□	待合せ	□	眺めている	□	飲食	□	犬と散歩
					大人	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	遊び	□	読書	□	寝る	□	散歩	■	ランニング	□		
					子ども	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	その他	□	:									
4	12:20	～	12:21	0:01	高齢者	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	スマホ携帯	□	会話	□	待合せ	□	眺めている	□	飲食	□	犬と散歩	
					大人	男性	1	人	女性	人	50	代	■	私服	:	□	スーツ	遊び	□	読書	□	寝る	□	散歩	■	ランニング		□
					子ども	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	その他	□	:									
5	12:40	～	12:41	0:01	高齢者	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	スマホ携帯	■	会話	□	待合せ	□	眺めている	□	飲食	□	犬と散歩しながら、スマホを手に取る。	
					大人	男性	1	人	女性	人	30	代	■	私服	:	□	スーツ	遊び	□	読書	□	寝る	□	散歩	■	ランニング		□
					子ども	男性	人	女性	人		代	□	私服	:	□	スーツ	その他	□	:									
滞在時間					属性 年代 性別 来訪者数 服装(在住もしくは在勤)										行動 スマートフォン、会話、待合せ、飲食、遊びなど													

観察日誌(過ごし方調査)の調査箇所

調査箇所は、公共施設整備や大規模土地利用行為等で景観協議を行ったところを対象とします。2017年度以降に新たに整備する箇所については整備前の状況を調査し、整備後の状況と比較することで、効果を分析します。調査箇所を下表に示します。

※ ○整備前調査
●整備後調査

年度 事業	観察日誌（過ごし方調査） 調査箇所							
	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
鉄砲道	整備 一中〜ラチエン ● 雄三〜一中	整備 ラチエン〜学園 ● 雄三〜ラチエン	● ラチエン〜学園					
中央公園	○							
しろやま公園	●							
公共サイン 茅ヶ崎駅 周辺	整備 茅ヶ崎駅周辺	● 茅ヶ崎駅周辺	● サザンビーチ ○ 茅ヶ崎駅南口	整備 茅ヶ崎駅南口	● 茅ヶ崎駅南口			
公共サイン 香川駅 周辺		○		○	整備	●		
(仮称) 歴史文化 交流館				整備	整備	●		
市役所前 広場			整備	整備	●			
柳島 スポーツ 公園	整備		●					
体験学習 施設		整備		●				

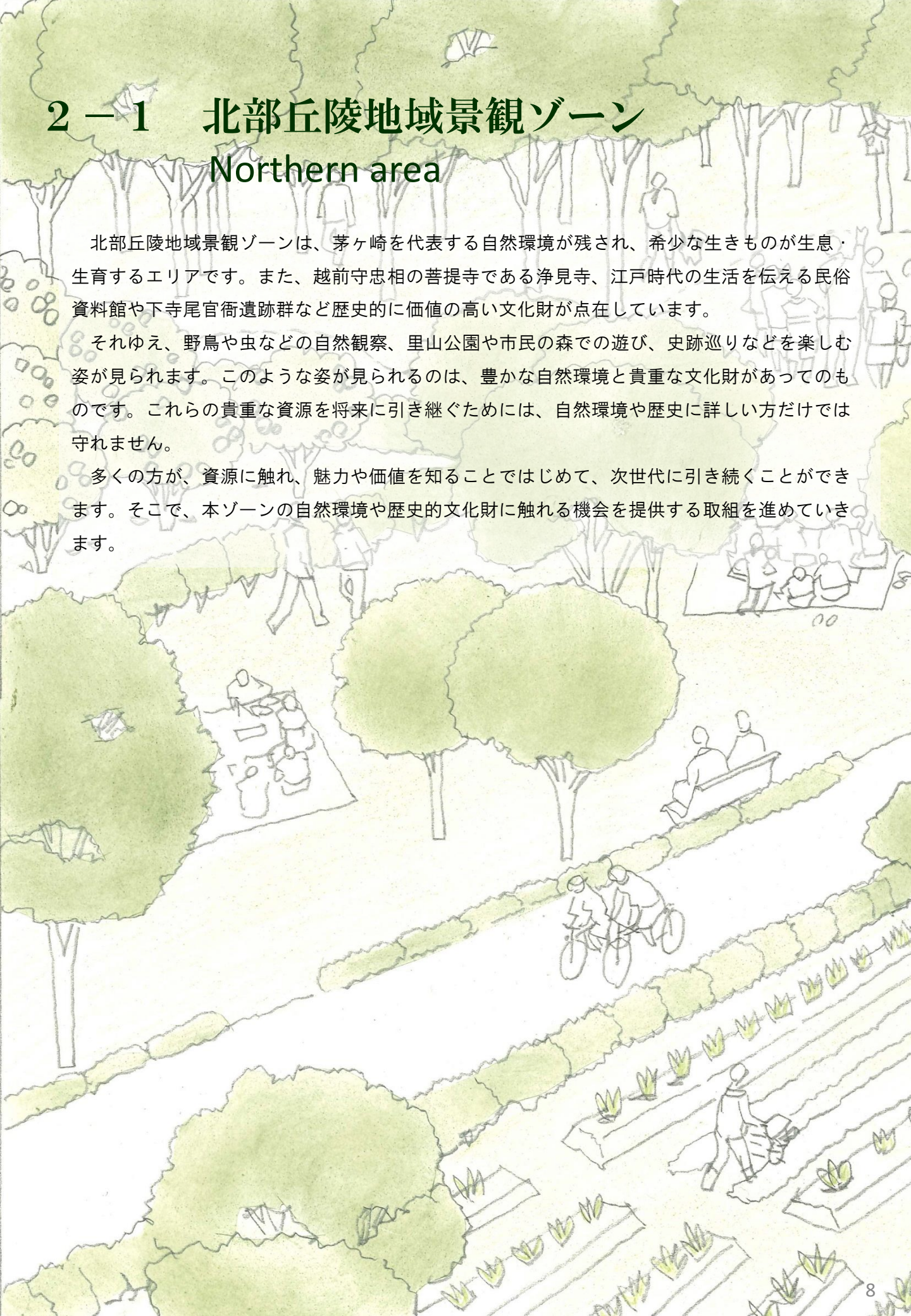
2. ゾーンごとによる検証

2-1 北部丘陵地域景観ゾーン Northern area

北部丘陵地域景観ゾーンは、茅ヶ崎を代表する自然環境が残され、希少な生きものが生息・生育するエリアです。また、越前守忠相の菩提寺である浄見寺、江戸時代の生活を伝える民俗資料館や下寺尾官衙遺跡群など歴史的に価値の高い文化財が点在しています。

それゆえ、野鳥や虫などの自然観察、里山公園や市民の森での遊び、史跡巡りなどを楽しむ姿が見られます。このような姿が見られるのは、豊かな自然環境と貴重な文化財があつてのものです。これらの貴重な資源を将来に引き継ぐためには、自然環境や歴史に詳しい方だけでは守れません。

多くの方が、資源に触れ、魅力や価値を知ることではじめて、次世代に引き継ぐことができます。そこで、本ゾーンの自然環境や歴史的文化財に触れる機会を提供する取組を進めていきます。





景観まちづくりの視点

自然と歴史から茅ヶ崎のはじまりを感じる。

自然景観の保全と活用

特別緑地保全地区やみどりの保全地区などの指定を行うとともに、市民等と協働で自然環境を管理し、谷戸や里山などの自然景観を保全します。

また、自然環境を一部公開し、生きものや自然と触れ合う学習等を通じて、次世代が自然景観の価値を知り、引き継いでいくための取組を積極的に進めます。

歴史的資源の保全と活用

下寺尾・堤地区に残る歴史的資源を保全するとともに、歴史を学び、楽しめる空間づくりを進めます。また、資源を活用した活動を展開し、本ゾーンの文化的価値を高め、市内外に魅力を発信します。

北部丘陵地域景観ゾーンは、特別緑地保全地区等の指定による自然環境の保全や（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館（以下、交流館）周辺の整備を基軸に景観形成を進めます。また、緑地の一部公開や歴史的資源の活用を進め、生活者が本ゾーンの価値を伝える機会や環境を創出します。

1. 2019年度～2021年度(令和元年度～令和3年度)実施事業について

本ゾーンでは、特別緑地保全地区等の指定による自然環境の保全や交流館周辺の整備を基軸に景観形成を進めています。当該期間中には、公共サインの整備及び北部地域の価値・魅力を体感できる機会創出のため「まち起こし事業」を実施しました。

評価	前期（2018～2022年度） （平成30年度～令和4年度）				後期（2023～2027年度） （令和5年度～令和9年度）			
定点観測	毎年度、定点観測の実施							
観察日誌 （過ごし方調査）	● 公共サイン				● 公共サイン 交流館			
景観資源 の指定	景観重要公共施設（小出川）、ちがさき景観資源の指定（浄見寺周辺）							
公共サイン の整備	設計 （下寺尾・堤地区）		整備					
まち起こし事業	下寺尾・堤地区 （試行実施）				継続的に実施			
	交流館周辺整備							
	下寺尾官衙遺跡群の保全・整備							
関連事業	特別緑地保全地区等の指定と学習機会の提供							
					小出川治水整備			

2. 定点観測

定点観測では、自然環境が特に豊かな所や歴史的価値の高い所など6か所（10地点）を景観ポイントとし、富士山等の眺望が見える4か所を眺望点に設定しています。合計10か所（14地点）の自然景観、歴史景観が保全されているか、また富士山や市街地への眺望景観が保全されているかを確認しました。

3. 観察日誌(過ごし方調査)

当該期間中は本ゾーンにおいて過ごし方調査は実施しておりません。公共サイン設置前の香川駅周辺での過ごし方調査は中部地域景観ゾーンのページに掲載しています。

1. 2019年度～2021年度実施事業について

下寺尾・堤地区周辺 公共サイン・まち起こし事業 Public sign and Branding of Shimoterao-Tsutsumi District



当該期間中に景観重要建造物（市指定重要文化財）である旧和田家住宅の改修工事が行われ、2022年には交流館の開館が予定されています。それら整備に併せて、地域住民の憩いの場となる広場等の整備が予定され、来訪者のためのサイン整備を実施しました。さらに、下寺尾・堤地区周辺の魅力を体感する機会を創出するため、下寺尾・堤地区周辺まち起こし事業を実施しました。

実施した取組

取 組		概 要
まち 起こ し 事 業	つくろう！ 小出のシンボルマーク （2019年度実施）	小出小学校5年生の児童と一緒に、地域の魅力を再発見しながら、地区を象徴するマークを作成するプログラム。
	伝えよう！旧和田家住宅 （2020年度実施）	小出小学校5年生の児童を対象に、旧和田家・旧三橋家を中心に、地区に残された貴重な資源について学び、次世代に継承していくための方策について考え、資源の大切さを伝えるツールを作成するプログラム。
	旧和田家・旧三橋家、 交流館の利活用を検討 （2021年度実施）	年間を通じて、交流館や旧和田家・旧三橋家を訪れてもらえるような取組を検討する。交流館の常設展・企画展に併せた研究プログラムや、利活用の検討を行う。
公共サインの整備 （2018～2019年度設計、 2021年度工事実施）		交流館、旧和田家住宅・旧三橋家住宅、下寺尾官衙遺跡群などを訪れる方が、資源の場所が分かるようにサイン整備を行う。

まち起こし事業(2019年度)



2019年度の取り組みとして、小出小学校5年生と一緒に地域の魅力を再発見しながら、小出地区を象徴するマークを作成する「つくろう！小出のシンボルマーク」を実施しました。

同地区に残された貴重な資源を守り、次世代に継承していくためには、未来を担う子どもたちに、地区への愛着を持ってもらうことが重要です。このマークを地域のシンボルとして、イベントや公共サインなどに使用し、マークをもとに人々が集まり、地域の魅力的な自然景観や歴史的資源に触れる機会の創出につなげていきたいと考えています。

時期	各回テーマ	内容
6月11日 (火)	第1弾 そもそもマークって何？	小出地区に残された貴重な資源とこれから地区で予定されている事業の説明を行うとともに、世の中にあるマークの意味や力を学んだ。
7月9日 (火)	第2弾 マークの素材 集めよう	マークの素材を集めるため、8班に分かれて、まちあるきを行った。その後、まちあるきで発見した地区の魅力を地図に落とし込み、班の中で共有した。
9月26日 (木)	第3弾 いよいよマークにしてみるぞ	デザイナーからマークづくりのポイントを学び、ひとりひとりが自由な発想で自分のマークを作り込んだ。
11月14日 (木)	第4弾 さあ、フィニッシュ！	つくったマークを班の中で発表し、班の代表を決めた。代表となったマークについて、代表に選んだ理由やマークに込めた思いについて発表した。
12月12日 (木)	第5弾 これが小出のシンボルマーク	班の代表のマークからデザイナーが最終3案を作成し、保護者や地域の方々にお披露目。投票によりシンボルマークを決定した。

【完成したマーク】

小出川を表す水色の円の中に、相州小出七福神を祭る寺院や江戸時代の生活を伝える民俗資料館など、小出地区に残る多くの歴史的資源を屋根の形で表現しました。屋根の下にはみどり豊かな自然を「小出」の文字と組み合わせで表現。屋根の形は手と手を取り合って、まるでハイタッチしているようにも見え、人と人のつながり深さを表現しています。



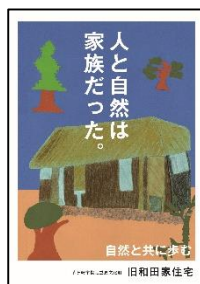
まち起こし事業(2020年度～2021年度)



2020年度は市指定重要文化財(景観重要建造物)である「旧和田家住宅」の魅力や価値を次世代へ継承していくために「伝えよう！旧和田家」を実施し、小出小学校5年生と一緒にオリジナルポスターを制作しました。

ポスターは児童が実際に現地へ足を運んで取材を行い、「小学生目線」で感じた旧和田家住宅の魅力を8つのテーマに分けて表現をしています。ポスターは今後、旧和田家住宅のイベントの告知やガイドブックの表示等に活用し、旧和田家住宅の周知啓発を図るとともに、将来にわたって貴重な文化財を継承していく新たなきっかけにしたいと考えています。

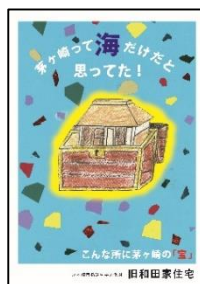
時期	各回テーマ	内容
7月21日 (火)	第1弾 旧和田家を知ろう！	東海大学小沢教授から旧和田家住宅の特徴、株式会社サン・アドから人に魅力を伝える方法を学ぶ。
10月27日 (火)	第2弾 旧和田家に触れよう！	耐震改修工事が進み、旧和田家住宅を訪れ工事のお手伝いや、見学・取材を行う。
12月8日 (火)	第3弾 旧和田家をプロデュースしよう	株式会社サン・アドからデザインのコツや、キャッチコピーの作り方などポスター制作のポイントを学ぶ。
1月27日 (水)	第4弾 作業を進めよう！	班で話し合いを行いながら、班で1枚のポスターを制作する。
3月11日 (木)	第5弾 発表しよう！	今まで行ってきたことの振り返りを行い、完成したポスターを発表する。



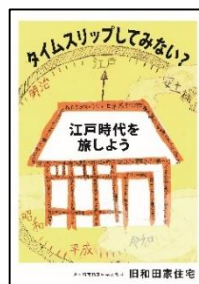
←自然との共存



←古民家ならではの工夫



←茅ヶ崎の宝



←タイムスリップ



←適材適所



←リニユール



←職人の技



←歴史のある家



8班分を合体したポスター

2021年度には、2020年度に児童が制作したポスターを表紙としたリーフレットを作成しました。

リーフレットは旧和田家住宅に配架し、訪れた人の見学時の参考資料としていただいたり、団体の見学時には職員が解説する際に活用したりというようなことを想定しています。また、周辺地図や旧三橋家住宅の案内も掲載し、周辺の自然景観や歴史的資源に触れる機会の創出につながることを期待しています。

旧和田家に来たら 旧三橋家に来てね

旧和田家の隣、浄見寺の境内に、旧三橋家が保存されているのをご存知ですか？
こちらは、旧和田家が建てられる28年前に香川村の名主を務めた三橋家によって建てられた民家です。
西間取で土間が広いこと、地元産の材をふんだんに使っているなど、旧和田家と比べるとまた違う特徴が際立ってきます。



MAP



開館時間 9:30~14:30
休館日 日曜日・月曜日(祝日の場合は翌平日) / 12月27日~1月4日
お問合せ 茅ヶ崎市教育委員会社会教育課 0467-82-1111 (代)
茅ヶ崎市文化資料館 0467-85-1733

※本館は、小田小中学校児童(令和2年度)が「旧三橋家」の歴史をテーマにしたポスターを元にデザインしたものです。
※本文の一部の市庁舎は、東海大学工学部建築学科小沢教授の「旧和田家住宅の歴史と構造」(文化資料館研究報告 18・2009)、「旧三橋家住宅の歴史と構造」(東海大学工学部建築学科小沢教授の「旧和田家住宅の歴史と構造」(文化資料館研究報告 18・2009))に基づいています。
※本館では、旧和田家住宅のことを旧和田家と呼びます。

2021年8月作成

ようこそ！ 旧和田家へ

人と自然は
家族だった。

自然と共に

海だ！と
思った！

今と昔は
何が違う？
探そう！
音の工夫！

タイムスリップしてみよう！

江戸時代を
楽しよう

茅ヶ崎市指定重要文化財
旧和田家住宅

茅ヶ崎市×小田小中学校

適材適所

茅ヶ崎市×小田小中学校

新時代の
古い家

茅ヶ崎市×小田小中学校

神技職

茅ヶ崎市×小田小中学校

ずっと
ここに
なっている。

茅ヶ崎市×小田小中学校

茅ヶ崎市教育委員会
社会教育課

江戸時代を感じる家、旧和田家

旧和田家は、1855(安政2)年の萩園村(現茅ヶ崎市の西部)に、村の役人を務めていた第11代和田清右衛門によって建てられました。
江戸時代末期の大型民家の特徴を色濃く残しており、当時の建築やくらしの様子を知ることで茅ヶ崎の宝として今後も大切に残されています。

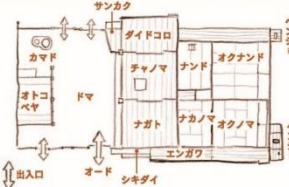
みんなでワイワイ建てました

旧和田家を建てたのは、大工・木挽・石屋・左官・屋根屋・畳屋・建具屋といった職人だけではありません。村人も木材を運んだり屋根を葺いたり、さまざまな助けを行いました。しかも、萩園村だけでなく近隣の村の人々までも駆けつけたとのこと。その数は約1000人を超えたそうです。



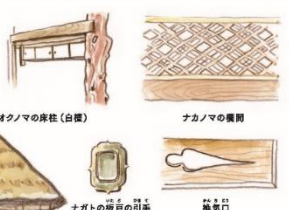
豪華な間取りです

江戸時代末期の民家は、4つの部屋からなる四間取がスタンダードでしたが、旧和田家は六間取、つまり、6つの部屋があるというところ。しかも、通常の入口に加えて身分の高い茶客専用の入口(シキダイ)までもあるというから、これはかなりの格式の高さです。さすが、村の役人というだけありますね。



細かいところも見えてほしい

家のあちこちには細かなデザインがちりばめられています。家内の壁が家紋だったり、床柱は白樺の木、波形模様の欄間などなど。見学するときは、そういったこだわりのひとつひとつにポイントを置くのもツツですよ。もしかしら和田清右衛門さんはとてもおしゃれな方だったのかもかもしれませんね。



地の利を活かして適材適所

もともと旧和田家が建っていた萩園村の西側には、相模川が流れていました。このことが、立派な家づくりに大いに役立ちました。家の柱や床などそれぞれに適した木材や板などに加工された木材を、水運を利用していろんな土地から取り寄せることができたのです。当時の最新物流システムを大いに利用して、いわゆる適材適所を叶えた、ということですね。



A4ヨコ向き二つ折りのA5サイズ。東海大学小沢教授の研究結果を中心とした内容で、親しみやすいようにイラストを中心に作成しています。

下寺尾・堤地区周辺公共サイン・まち起こし事業

景観みどり課 Townscape and Green Section

15

公共サイン整備(設計計画:2019年度)



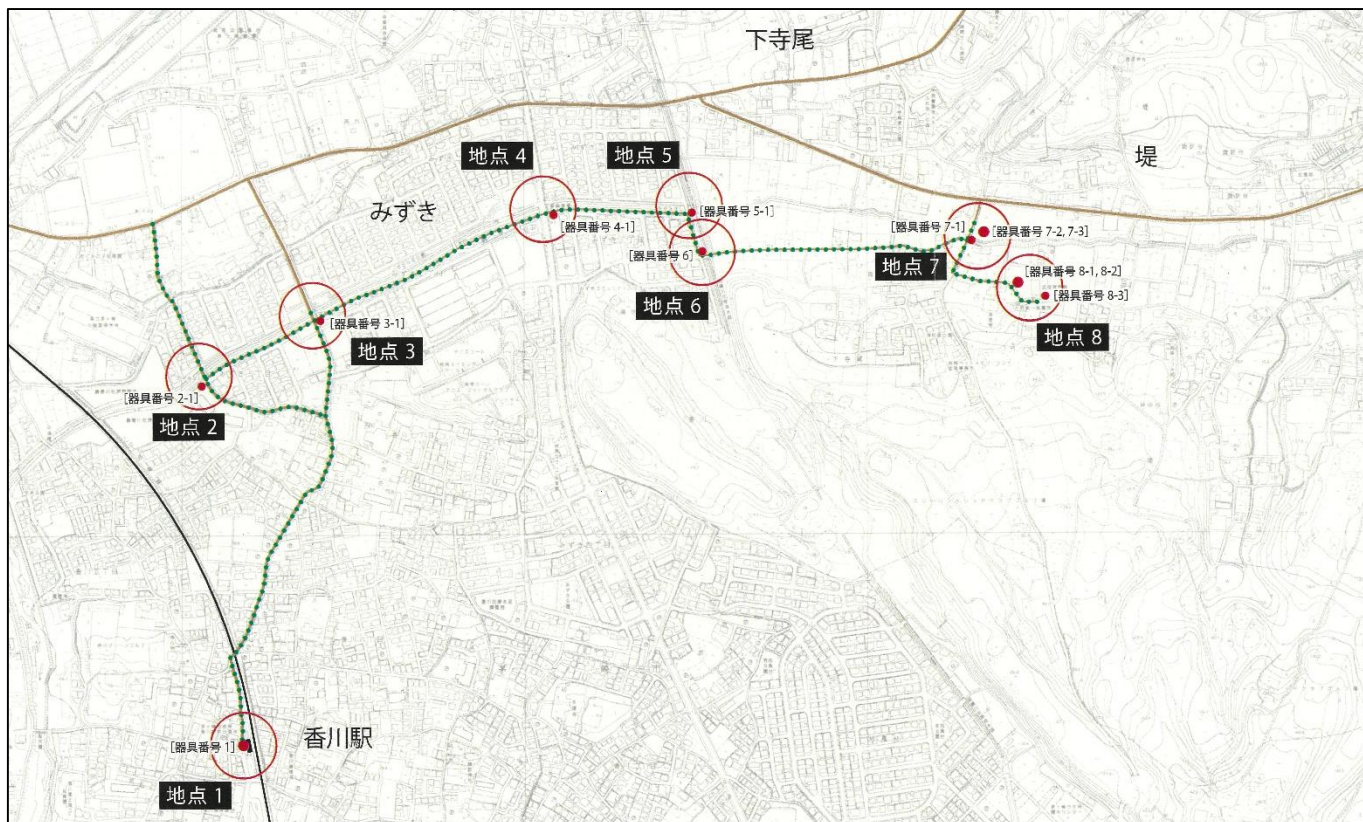
下寺尾・堤地区の公共サイン整備の設計計画については2018年度から進めており、2018年度は、香川駅から交流館周辺までのサインの配置やサインの種類及び仕様の検討を行いました。2019年度は、配置計画に基づいた個々のサインの構造検討を行うとともに、各種サインのデザインやグラフィック図の作成を行い、サイン設計が完了しました。

《サイン設計の考え方》

- ①下寺尾・堤地区の歴史的資源を周遊するための「わかりやすい道案内」を担うサインとする。
- ②まちを歩く人々がサインを通して新発見や納得感を楽しめるようなコンテンツを表現するサインとする。
- ③短時間に広範な人々が解読できるよう、情報過多にならない直感的に理解できるサインとする。

《サインの設置位置》

行動起点を香川駅とし、交流館や下寺尾官衙遺跡群を目的地とした配置計画を行ないました。香川駅からみずき地区内の駒寄川河川管理用通路をメインルートとし、終点を交流館及び旧和田家としました。



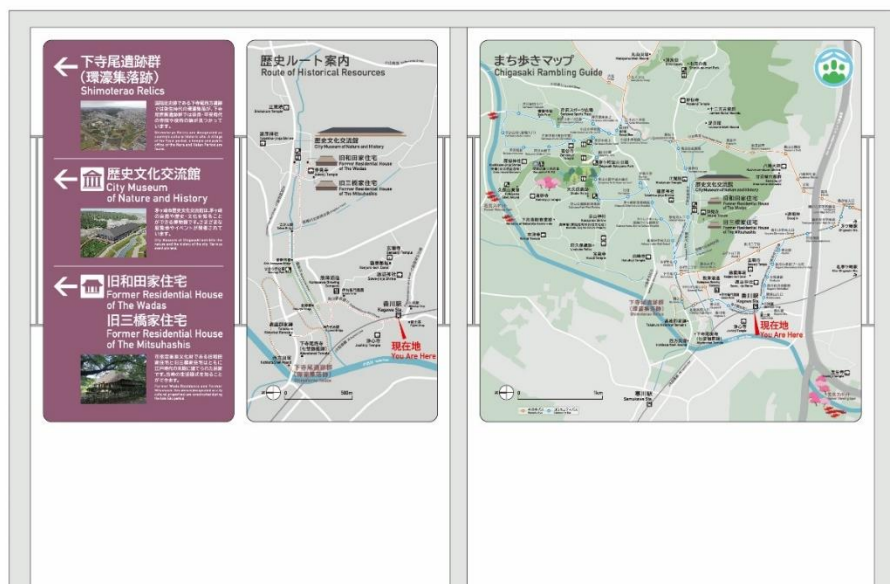
《グラフィックの作成》

- ・周遊出発地、周遊目的地を記載し、経路の手掛かりとなる地点の位置情報を記載しました。
- ・主要な目的地は、イラストを入れることで、目的地をイメージしやすくしました。
- ・まち歩きマップのため、歩行経路となり得る主要な道路を記載したが、バスでの移動も想定し、バス停を記載しました。
- ・まち起こし事業で作成した「シンボルマーク」を表示しました。

《サインのデザイン》

- ・みずき地区の景観に呼応してコンテンポラリー（現代的）なデザインとし、アイキャッチャー（指示サイン）の色をまち歩き道中にあるハナミズキの実からヒントを得た「えんじ色」としました。

図解サインのベース色を「周遊ルート図」ではライトグレー、「まち歩きマップ」ではライトグリーン系の色彩としました。



新設図解サインのデザイン（香川駅前に設置）



「つくろう！小出のシンボルマーク」
で作成したマークを使用



主要な目的地にはイラストを使用

《工事結果》

2021年12月に工事着手をし、館銘板3基と9基の図解サイン・同定サイン・指示サインの計12基を設置を行いました。



2. 定点観測

ー 景観ポイントー

里山公園（里山公園からの富士山）



2018年時点



2021年時点

里山公園（ふれあいパーク）



2018年時点



2021年時点

行谷・芹沢（行谷で見る田畑）



2018年時点



2021年時点

行谷・芹沢（芹沢から行谷を見る）



2018年時点



2021年時点

赤羽根字六～九図



2018年時点



2021年時点

浄見寺周辺



2018年時点



2021年時点

▲ 交流館の建築が行われ、2021年度(令和3年度)に工事が完了しました。

清水谷・市民の森(市民の森)



2018年時点



2021年時点

清水谷・市民の森(清水谷)



2018年時点



2021年時点



一眺望点一



▲2020年度（令和2年度）に旧和田家住宅の耐震改修工事が行われました。



2-2 中部地域景観ゾーン Central area

中部地域景観ゾーンは、高田・室田、松風台及びみずき地区のように落ち着いた景観を形成している住宅地がある一方で、中世から近世にかけての重要な史跡が集積する鶴嶺地区、工業系用途の比較的多い萩園地区、生産緑地の多い菱沼地区など、様々な顔を見せるゾーンです。また、相模川、小出川、千ノ川など本市の水と緑の骨格をなす河川があります。

本ゾーンでは、田畑、史跡名勝、眺望が良い場所などを散策する姿、住宅街の中にあるみどりが豊かな場所などに訪れて食事やイベントを楽しむ姿が見られます。

田畑、史跡名勝、眺望などの景観資源を守るとともに、家の近くでゆったりと過ごせる場をつくり、住宅地としての価値・魅力を向上させる取り組みが望まれます。





景観まちづくりの視点

生活のひと時に自然や歴史を感じる。

良好な住宅地景観の形成

屋敷林などのみどりを保全するとともに、その活用を進めます。また、成熟した住宅地を残すために進めている市民主体のまちづくり活動を引き続き支援します。

富士山や市街地の眺望の保全

田畑や住宅地からの富士山の眺望を保全します。また、殿山公園からの市街地の眺望を併せて保全します。

景観資源の保全と活用

樹木や並木など景観資源を引き続き保全します。また、下寺尾官衛遺跡群や（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館の整備に併せて、景観資源の活用を進めます。

地域性に配慮した工業地の景観形成

工業系の用途が集中している地区は、無機的で圧迫感のある景観とならないよう、緑化や色彩の工夫などを進めます。

中部地域景観ゾーンは、田畑や住宅地からの富士山の眺望の確保や殿山公園からの市街地の眺望を保全することで景観形成を図ります。樹木や並木など景観資源を引き続き保全します。

1. 2019年度～2021年度(令和元年度～令和3年度)実施事業について

本ゾーンでは、行為の届出等を通じて、富士山の眺望の確保やみどり豊かな住宅地の景観形成を進めています。当該期間中には、交流館等の整備に併せて香川駅周辺の公共サインを整備しました（北部地域景観ゾーンで詳述のため、本ゾーンの事業からは割愛します。）。

評価	前期（2018～2022年度） （平成30年度～令和4年度）				後期（2023～2027年度） （令和5年度～令和9年度）			
定点観測	毎年度、定点観測の実施							
観察日誌 （過ごし方調査）	○ 公共サイン 香川駅							
地区の 指定	辻堂駅西口周辺整備に併せて辻堂駅西口特別景観まちづくり地区の指定拡大				香川駅まちづくり計画等に進捗に併せて指定			
景観資源 の指定	景観重要公共施設の指定（駒寄川）				景観資源の発掘（旧大山街道周辺など）			
公共サイン の整備	設計（香川駅周辺）		整備					
関連事業	（仮称）茅ヶ崎市歴史文化交流館周辺整備							
					下寺尾官衙遺跡群の保全・整備			
					香川駅まちづくり計画の推進			
					辻堂駅西口周辺整備の推進			

2. 定点観測

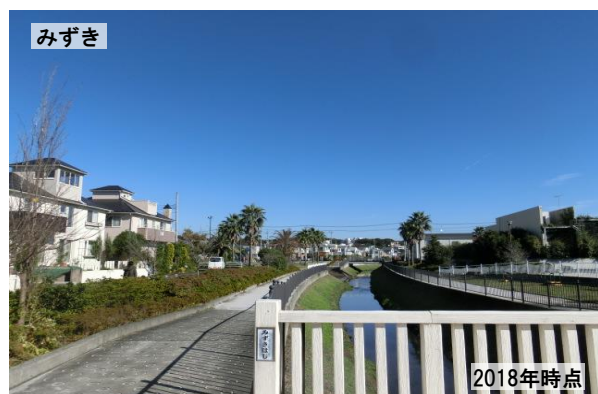
定点観測では、みどりが特に豊かな住宅地、歴史的価値の高い所など8か所を景観ポイントとし、富士山や市街地への眺望が見える4か所を眺望点に設定しています。合計12か所の住宅景観、歴史景観が保全されているか、また富士山や市街地への眺望景観が保全されているかを確認しました。

3. 観察日誌(過ごし方調査)

2020年度（令和2年度）に香川駅前公共サイン整備前の過ごし方調査を実施しました。

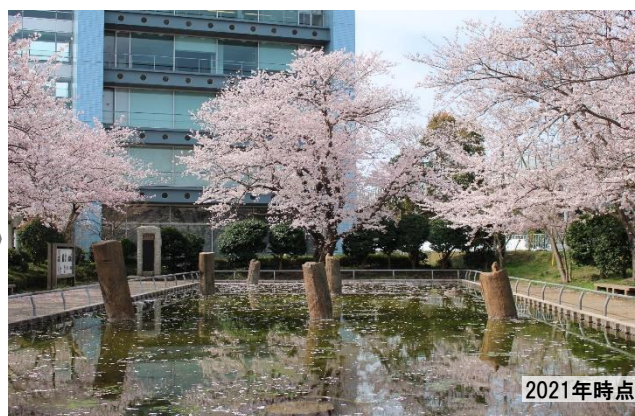
2. 定点観測

ー 景観ポイントー



▲2019年度(令和元年度)以降各街区の外観の塗り替え工事が行われています。
また、2020年度(令和2年度)から付近で共同住宅の7階建ての建築が行われています。





▲2020年度(令和2年度)以降、コスモスを植えていた活動が休止されています。



一眺望点一



2. 観察日誌(過ごし方調査)

香川駅周辺 公共サイン

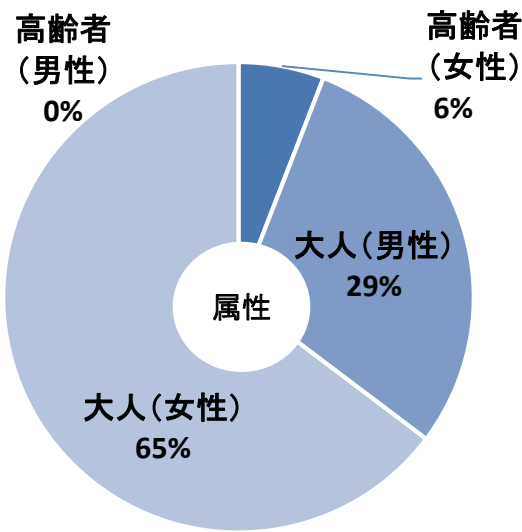
Public sign around Kagawa Station

2021年度に下寺尾・堤地区における公共サインの整備工事が予定されていたため、2020年度は、現状課題を把握するため、香川駅周辺の利用状況を調査しました。



調査日及び気候

調査日	2020年11月7日(土)	2021年1月6日(水)
時間	10時～15時	10時～15時
天候	曇り	曇り
気温	20℃	10℃
風速	0m/s	北東 2m/s
日差し	弱い	弱い



結果概要と考察

- ・駅から降りてくる人が上り線より下り線の方が多かったため、JR東海道線から茅ヶ崎駅で乗り換えて来訪する者が多いと考えられます。
- ・現状周辺を案内する地図がないため土地に不案内な人はスマートフォンの地図アプリを利用して目的地に向かうことが多いと思われますが、そうすると駅と目的地のみの往復になりがちです。図解サインを設置することにより、目的地にしていた場所以外の施設等が目に入り、足を延ばすことが期待されます。

香川駅周辺

香川駅周辺には、下寺尾・堤地区の図解サインを設置する予定です。

JR相模線利用者で香川駅から北へ向かう人を追跡調査し、平日休日ともに6組を追跡しました。合計12組のうち、5組が熊澤酒造へ向かいました。その全員が午前中であったため、午前中に限ると7組中5組が熊澤酒造へ向かっています。そのほかにはさらに北の方へ向かう人が確認されました。

熊澤酒造へ向かう者の中には、住居表示街区案内板を見ている者もあり、まち歩きマップを設置することにより、目的地以外の場所へ足を延ばすという行動が期待できます。

また、熊澤酒造への車で訪者のナンバープレートを確認したところ、湘南や横浜ナンバーだけでなく、県外ナンバーの車も多く見られました。



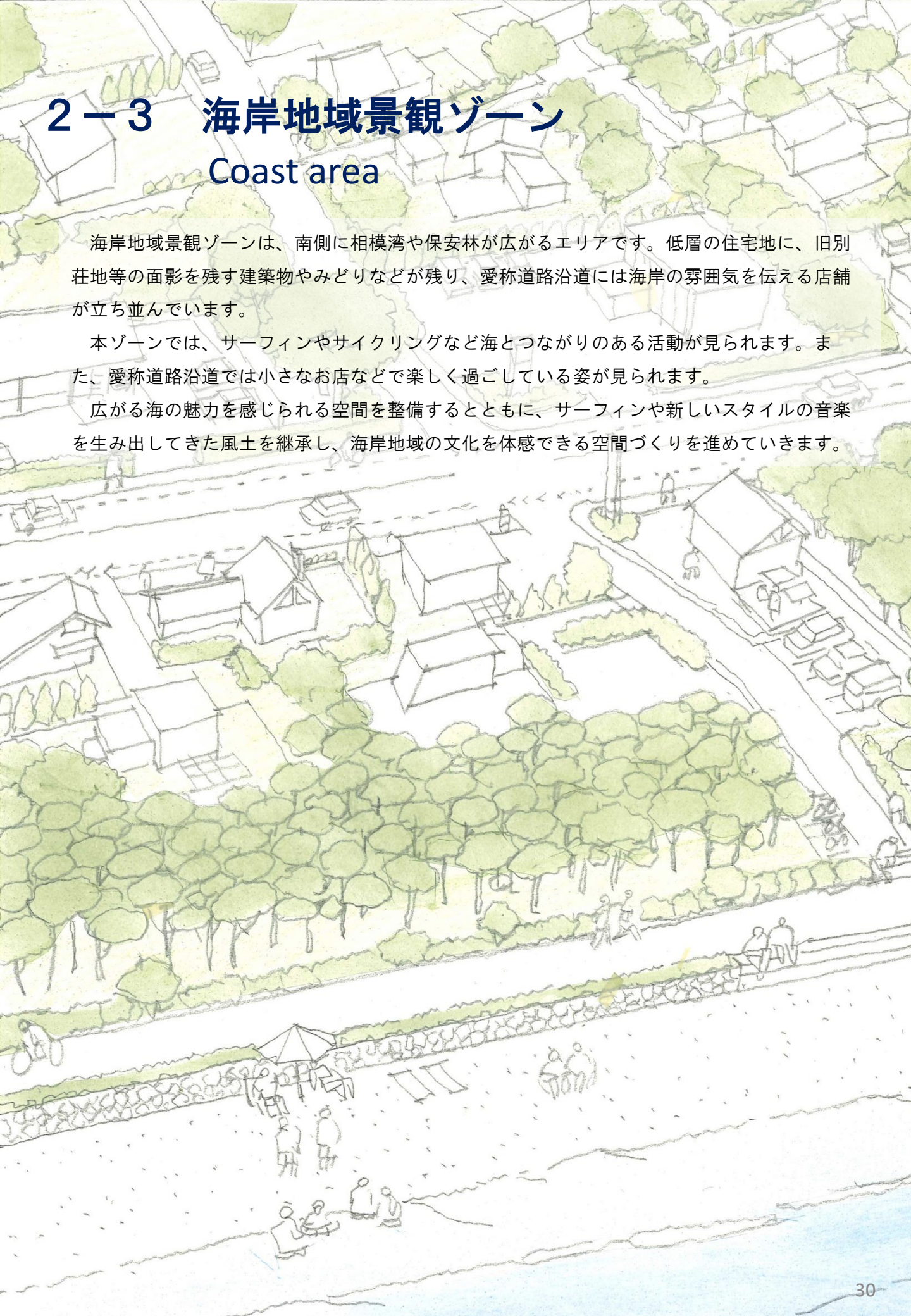
2-3 海岸地域景観ゾーン

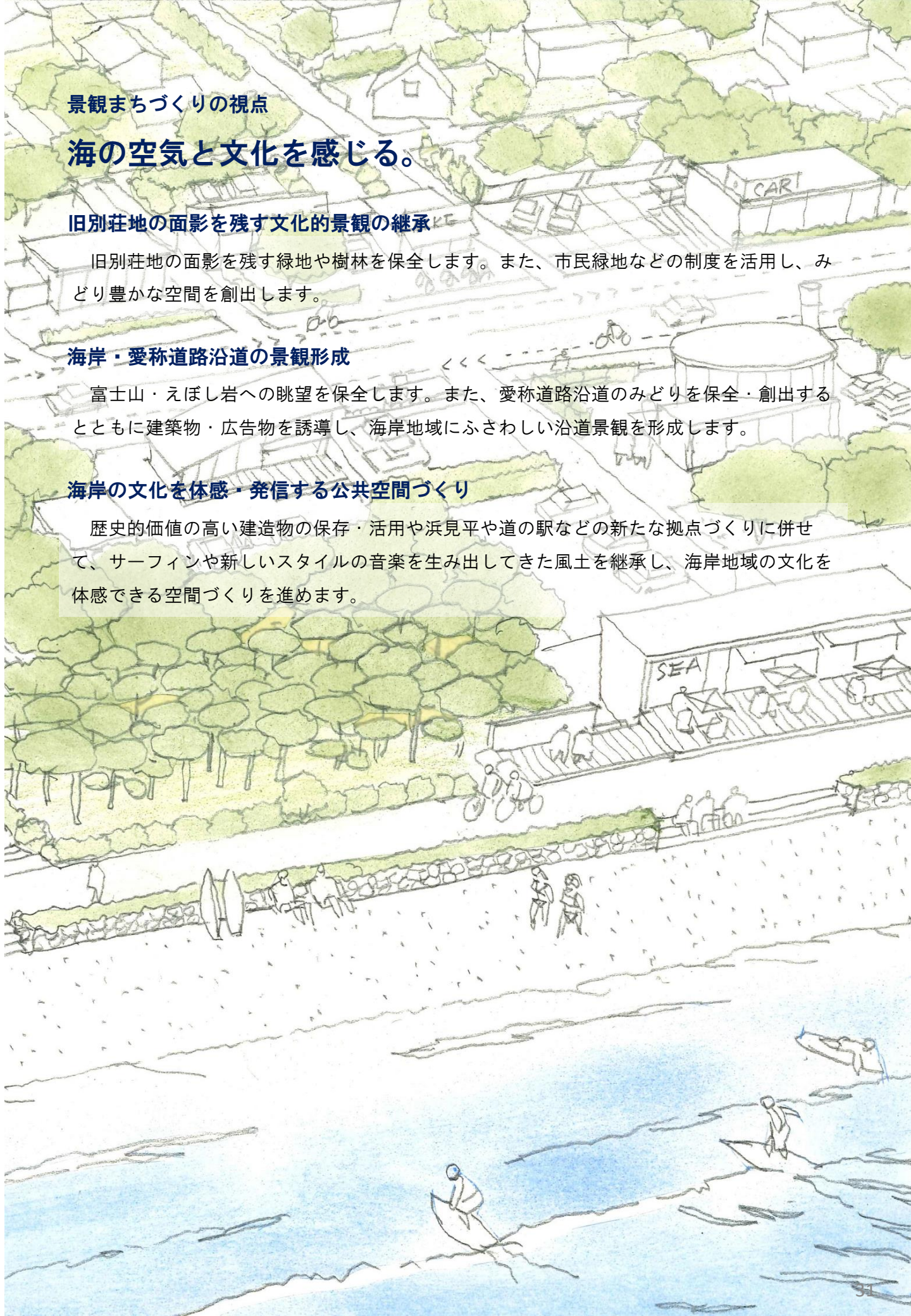
Coast area

海岸地域景観ゾーンは、南側に相模湾や保安林が広がるエリアです。低層の住宅地に、旧別荘地等の面影を残す建築物やみどりなどが残り、愛称道路沿道には海岸の雰囲気伝える店舗が立ち並んでいます。

本ゾーンでは、サーフィンやサイクリングなど海とつながりのある活動が見られます。また、愛称道路沿道では小さなお店などで楽しく過ごしている姿が見られます。

広がる海の魅力を感じられる空間を整備するとともに、サーフィンや新しいスタイルの音楽を生み出してきた風土を継承し、海岸地域の文化を体感できる空間づくりを進めていきます。





景観まちづくりの視点

海の空気と文化を感じる。

旧別荘地の面影を残す文化的景観の継承

旧別荘地の面影を残す緑地や樹林を保全します。また、市民緑地などの制度を活用し、みどり豊かな空間を創出します。

海岸・愛称道路沿道の景観形成

富士山・えぼし岩への眺望を保全します。また、愛称道路沿道のみどりを保全・創出するとともに建築物・広告物を誘導し、海岸地域にふさわしい沿道景観を形成します。

海岸の文化を体感・発信する公共空間づくり

歴史的価値の高い建造物の保存・活用や浜見平や道の駅などの新たな拠点づくりに併せて、サーフィンや新しいスタイルの音楽を生み出してきた風土を継承し、海岸地域の文化を体感できる空間づくりを進めます。

海岸地域景観ゾーンは、道の駅や海岸・漁港等の拠点、愛称道路を基軸に景観形成を進めます。また、海岸沿岸の拠点、歴史的価値のある建造物等が、人々のための公共空間となるように施設等の内容も含めて景観形成を図ります。

1. 2019年度～2021年度(令和元年度～令和3年度)実施事業について

本ゾーンでは、道の駅や海岸・漁港等の拠点、愛称道路を基軸に景観形成を進めています。当該期間中には、鉄砲道を景観重要公共施設に指定しました。

評価	前期（2018～2022年度） （平成30年度～令和4年度）				後期（2023～2027年度） （令和5年度～令和9年度）			
定点観測	毎年度、定点観測の実施							
観察日誌 （過ごし方調査）	● 鉄砲道 公共サイン	● 鉄砲道 公共サイン	● 体験学習 施設					
地区の指定	茅ヶ崎海岸・漁港特別景観まちづくり地区等の拡大の検討							
景観資源 の指定		● 景観重要公共施設の指定（鉄砲道）			景観重要建造物の指定（水室椿、旧南湖院第1病舎など）			
					ちがさき景観資源、景観重要樹木の指定			
公共サイン の整備	公共サイン協議（道の駅）				公共サインの協議、定期点検の実施			
関連事業	鉄砲道の 沿道景観形成事業							
	道の駅整備事業							
	浜見平団地建替事業							
	海岸グランドプラン等の推進							

2. 定点観測

定点観測では、海岸から見える眺望、愛称道路など6か所（8地点）を景観ポイントとし、富士山が見える6か所（7地点）を眺望点に設定しています。合計12か所（15地点）について、その眺望景観等が保全されているか確認しました。

3. 観察日誌(過ごし方調査)

鉄砲道の沿道形成事業の整備後、柳島スポーツ公園の整備後、サザンビーチ公共サインの整備後及び体験学習施設の整備後の過ごし方調査を実施しました。

1. 2019年度～2021年度実施事業について

鉄砲道の景観重要公共施設の指定 Renewal of Teppou-michi Street



景観重要公共施設とは

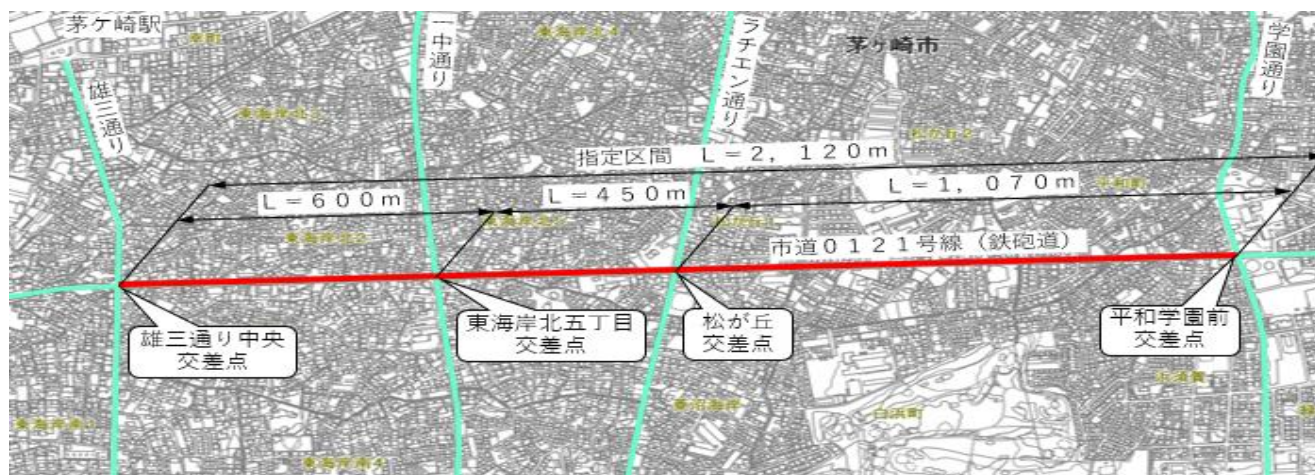
景観法に基づき、景観行政団体が、景観計画区域における良好な景観の形成に重要な道路、公園等の公共施設を「景観重要公共施設」として指定するものです。

指定の効果

- ・ 景観計画に「整備に関する事項」、「占用許可基準」を定めることができます。（景観法第8条）
- ・ 景観重要公共施設の整備は、当該景観計画に即して行わなければなりません。（景観法第47条）
- ・ 占用許可等にあたって景観計画に定められた基準に従って行わなければなりません。（景観法第48～54条）

指定候補路線について

市道0121号線（鉄砲道）（東海岸会館前交差点～平和学園前交差点）について、2021年度に景観重要公共施設として指定を行いました。



指定区間の景観特性と指定理由

- ・市南部を東西に横断する主要道路であり、沿道にお店が点在する等、賑わいを生む通りになっており、景観計画において、景観ベルト（愛称道路ベルト）に指定されています。
- ・2016年度から2018年度にかけて、街路樹を延焼遅延効果がありかつ害虫被害の少ない維持管理のしやすい樹木に植え替え、併せて、歩道幅員の拡幅やベンチの設置、舗装の一部をインターロッキング舗装にするなど、歩いて楽しい空間づくりを目指し、リニューアル工事を行いました。
- ・整備後の「過ごし方調査」では、ベンチが設置され、散歩途中の休憩・会話やバス待ちのほか、お絵描きなど、市民生活の中に溶け込み、鉄砲道の賑わいの創出に寄与する様子が見られています。
- ・植樹帯に草花を植える等、近隣の住民による維持管理活動が徐々に見られるようになっていきます。

景観重要公共施設の「整備に関する事項」と「占用許可基準」について

指定にあたり、指定区間の調査による景観特性の把握と既指定路線の基準を踏まえ、整備に関する事項及び占用許可基準を設定しました。

施設管理者	茅ヶ崎市
指定区域	東海岸会館前交差点～平和学園前交差点
景観要素	ストリートファニチャー、街路樹、インターロッキング※
整備に関する事項（景観法第8条第2項4号ロ）	○全体方針 道路の整備にあたっては、「道路デザイン指針（案）」及び「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン」に準拠するとともに、徒歩や自転車ですぐ安全に楽しくまちを巡れるような景観形成に努める。 ○工作物等の整備 ・形態意匠については、彩度6を超える色彩を使用しない。植樹帯周囲はインターロッキング舗装とし庭園的なやすらぎ空間を整備する。 ・サインは、「茅ヶ崎市公共サインガイドライン」に準拠し、周辺景観との調和に配慮した支柱や外枠を用いる。 ○みどり豊かで快適な道路空間 ・歩行者が安心して快適に散策できるような歩行空間とする。 ・歩道内の道路等に高木を含む街路樹、低木による植え込み等を設置し、街路樹がもつ延焼遅延効果を高めながら、みどり豊かな道路空間とする。 ○電線類の地中化 ・電線共同溝の整備に努める。 ・電線類の地中化に伴い設置する地上機器は、位置・色彩に配慮する。または、地上機器の周辺を、植栽による遮蔽で修景を図る。
占用許可基準（道路法第32条第1項又は第3項）	・工作物の形態意匠については、彩度6を超える色彩を使用しない。 ・キャラクターなどの占用物は控える。

今後について

今回景観重要公共施設に指定した区間は、景観計画に示す「茅ヶ崎らしさ」が感じられる空間となっています。今回の指定をきっかけに、ハード面では、道路部局と連携し、電線類地中化の早期実現、ソフト面では、周知・啓発に努め市民意識を醸成し、市民による維持管理活動に繋げていきたいと考えています。

2. 定点観測

ー 景観ポイントー



柳島（柳島スポーツ公園）



2018年時点



2021年時点

サザンビーチ・茅ヶ崎漁港海岸公園（サザンビーチ）



2018年時点



2021年時点

サザンビーチ・茅ヶ崎漁港海岸公園（茅ヶ崎漁港海岸公園）



2018年時点



2021年時点

ラチェン通り



2018年時点



2021年時点

▲海岸沿いの自転車歩行者道に竹柵が新設されました。

一眺望点一



▲2021年(令和3年度)に茅ヶ崎市海岸漁港周辺特別景観まちづくり地区にて4階建て店舗の建築着工。





▲2021年度（令和3年度）に給水塔が解体されました。

2022年度（令和4年度）以降に浜見平グラウンドの防球ネット及び公衆便所等の建築が予定されています。



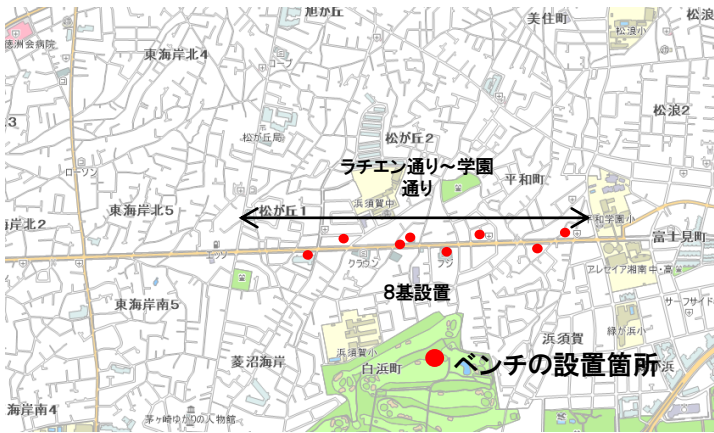
▲2019年度（令和元年度）にD1街区①の8階建て共同住宅（写真右側）の建築が完了しました。

3. 観察日誌(過ごし方調査)

鉄砲道(ラチエン通り～学園通り)
Renewal of Teppou-michi Street



鉄砲道は、2016～2018年度にかけて、植栽帯をリニューアルしました。樹種を延焼遅延効果の高い常緑樹に植え替えるとともに、歩道のアスファルトを、一部、明るい色調のブロック舗装やタイル舗装に改良することで、庭園的な空間へ再整備し、植栽帯の一部にはベンチを設置しました。2019年度は整備後の調査を行い、整備効果を確認しました。

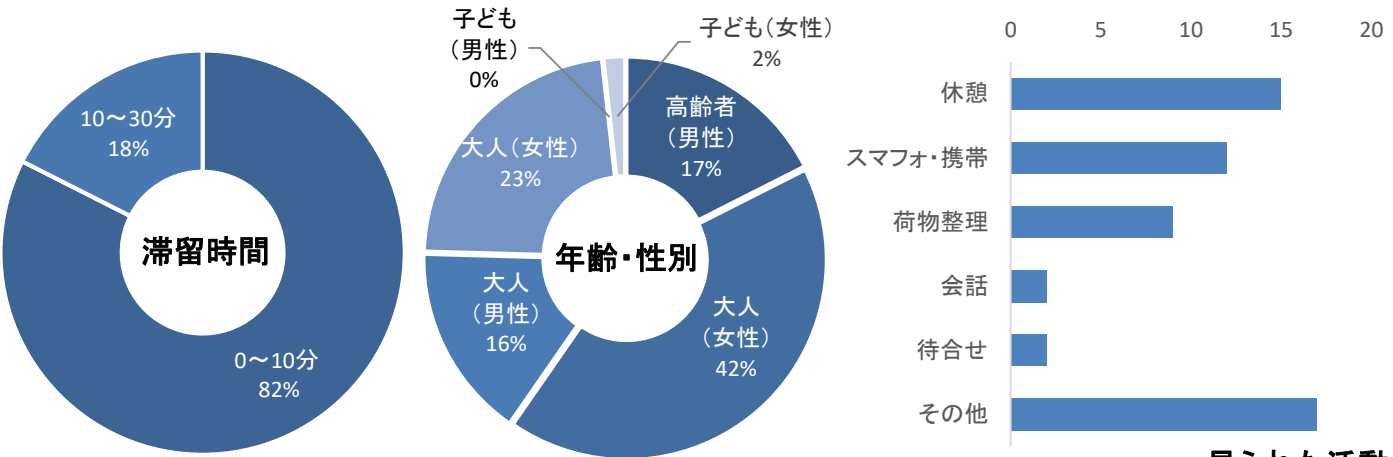


調査日及び気候

調査日	2019年	
	10月26日(土)	10月31日(木)
区間	ラチエン通り～学園通り	
時間	10時～15時	10時～15時
天候	晴れ	晴れ
気温	20.6℃	20℃
風速	南 2.7m/s	南西 2m/s
日差し	有り	普通

結果概要と考察

- ・ベンチでの滞留時間は10分未満で、散歩や買い物途中の休憩・会話及びバス待ち等のほか、荷物整理やお絵描きなど座る以外の用途にも利用され、市民生活の中に溶け込み、鉄砲道の賑わいの創出に寄与する様子が見られました。
- ・草花を植えている状況や植栽帯の維持管理に係る活動が、徐々に見られるようになりました。



調査結果

2019年度調査(ラチエン通り～学園通り)

今回の調査中には、46グループ(合計60人)がベンチを利用していました。地域の方との調整で、バス停の横に設置したため、バス利用者が待ち時間に利用している姿が多く見られました。その他、高齢者層は散歩途中の休憩に使う姿や一時的に荷物を置き整理している姿、バスの待ち時間を利用して、会話を楽しむ姿や子どもがお絵描きをする姿も見られました。

また、沿道の店舗の方々による植栽帯の管理が継続されており、雑草等が綺麗に除草されている箇所も見られることから、徐々に維持管理活動が広がりつつあることが分かりました。



バス待ちで子どもがお絵描き(写真1)



新聞を読んでいる(写真3)



買い物途中の休憩(写真4)



バス待ちの列(写真2)



夫婦で会話(写真5)

柳島スポーツ公園

Yanagishima sports park

柳島スポーツ公園(PFI事業)は、市の南西部に位置する都市公園として2018年3月に開園しました。

テニスコートや運動場など運動施設に併設し、遊具等があるコミュニティ広場や健康器具やベンチを設置した多目的広場を併設しています。

2019年度は今後の公園設計に有用な知見を得るために、利用状況を把握しました。

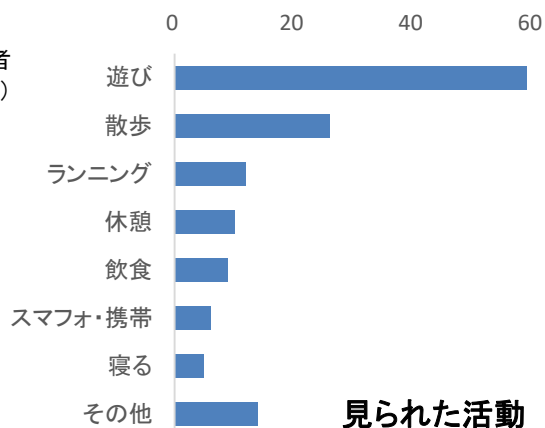
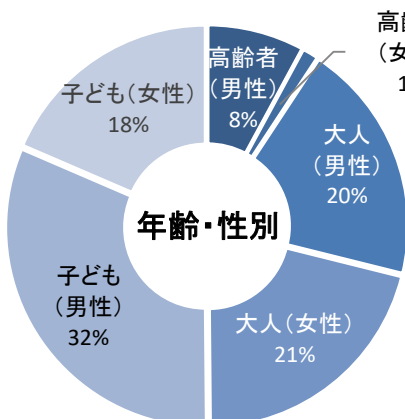
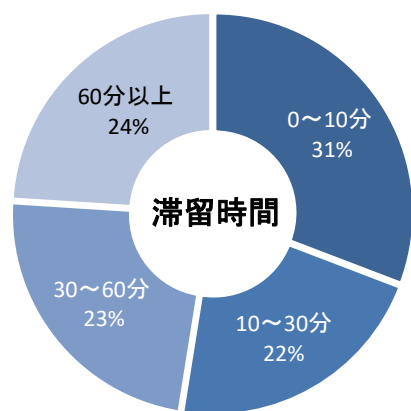


調査日及び気候 2019年

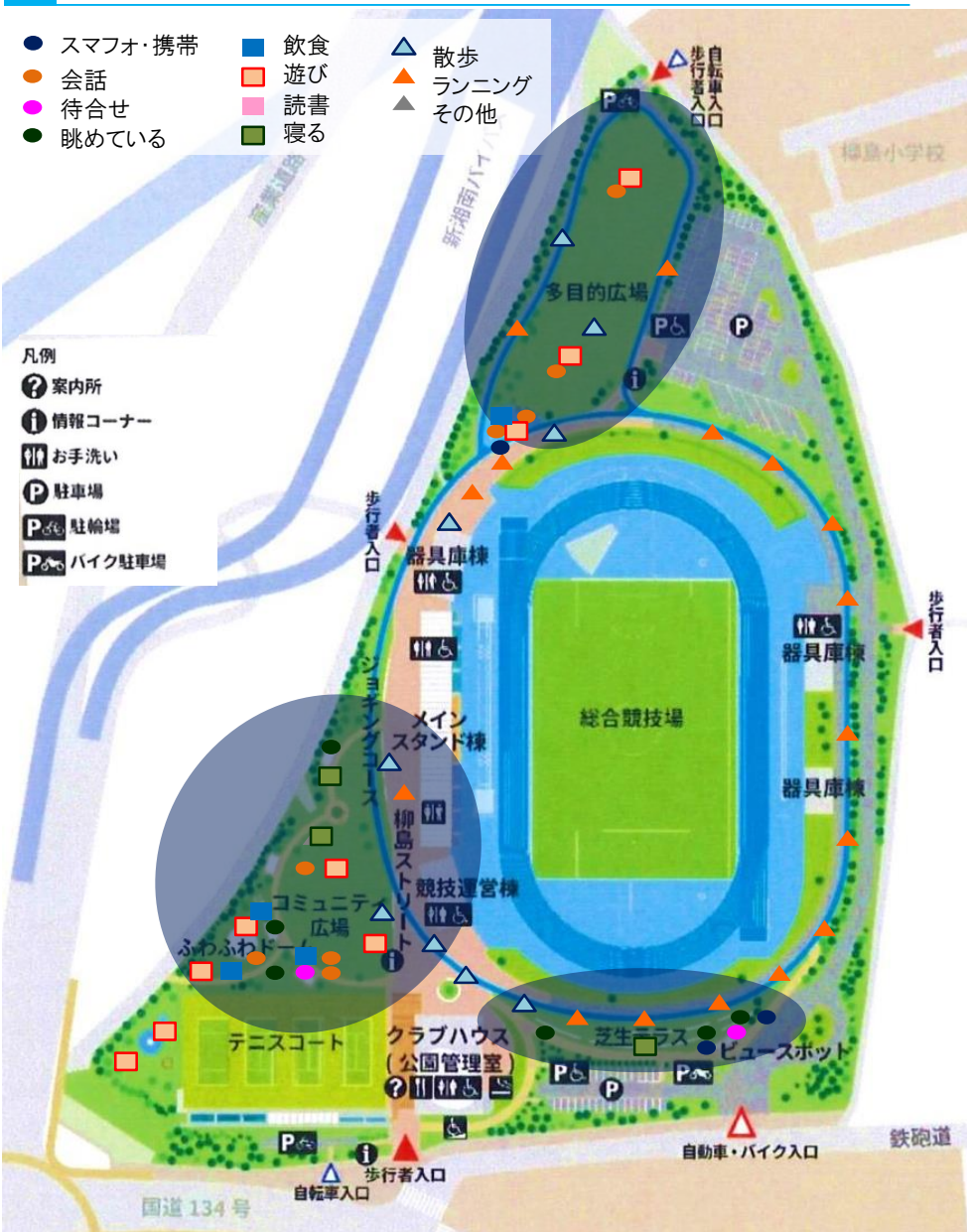
調査日	10月5日(土)	10月28日(月)
時間	10時～15時	10時～15時
天候	晴れ	晴れ
気温	30℃	21℃
風速	北北東 3～4m/s	東 3.6～4m/s
日差し	強い	強い

結果と考察

- ・午前中の利用が多く、運動のほかにも、飲食・遊び・ベンチ利用など様々な活動が見られました。
- ・コミュニティ広場に遊びに来る親子が多く、子どもの遊び場になっていることが判りました。
- ・多目的広場のベンチは、屋根がなく長く滞在する人が少なくなっていました。
- ・全体的に日陰が少なく、利用者が1日を通し過ごしやすく楽しめる空間をつくるためには、屋根のあるシェルターの整備や、緑陰をつくる樹種の選定等、日陰をつくる工夫が必要と感じました。



調査結果



サザンビーチ 公共サイン

Public sign around Southern Beach

2016年度から重点整備地区を対象に、歩行者系の公共サインの体系を構築しました。

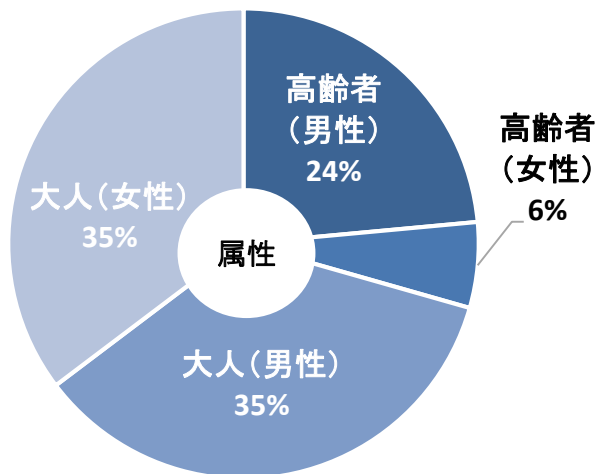
図解サインでは、本市のイメージにあうように軽快なデザインとし、移動の所要時間の目安を視覚化するなどの工夫をしています。2019年度は整備後の利用状況を把握しました。



調査日及び気候

2019年

調査日	10月9日(水)	11月9日(土)
時間	10時～15時	10時～15時
天候	晴れ	晴れ
気温	25℃	16℃
風速	北北東 4m/s	北 2m/s
日差し	少々有り	弱い



結果概要と考察

- ・休日より平日の利用が多くみられました。
- ・スマートフォンなど地図情報を利用せず目的地へ到達していることや、サイン自体をスマートフォンで撮影し、それを頼りに歩いている姿から、サインの誘導は適切に機能していました。
- ・海から駅方面へ向かう人は少なく、サザンビーチや漁港などの海を目的地としている方が多いことがわかりました。

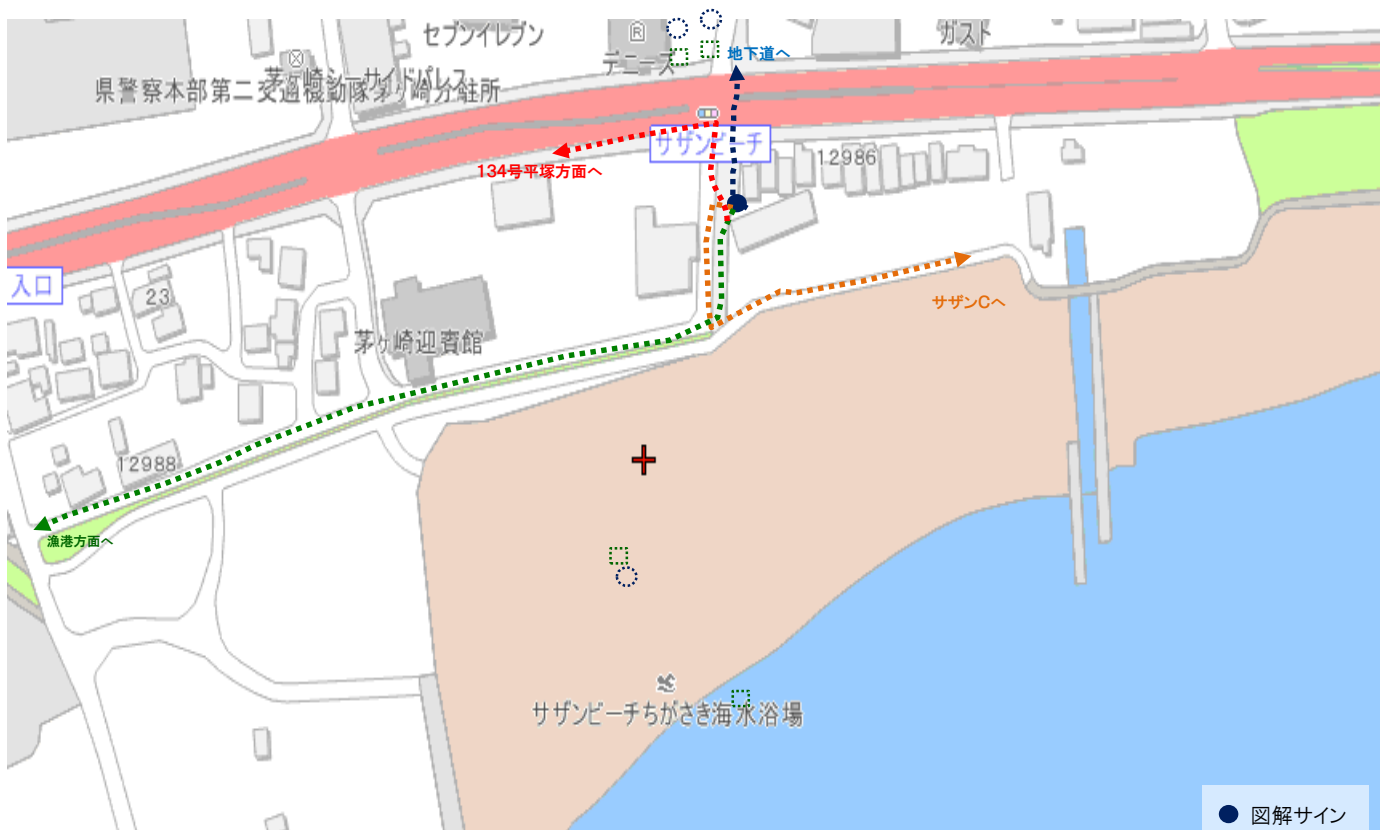
サザンビーチ

サザンビーチには、図解サイン1基を設置しました。調査時間中には、平日3人、休日8人の利用者を確認でき、利用者を追跡調査しました。

サイン利用者の中には、海岸方面へ移動しサザンCで記念撮影している方もおり、周辺に居住する方だけでなく、市外又は市内の他地域の方が利用している可能性があります。

サインの利用後は、スマートフォンなど地図情報を利用せずに施設へ到達していることや、サイン自体をスマートフォンで撮影し、それを頼りに歩いていた姿から、サインの誘導は適切に機能しているものと考えられます。

駅前のサインなどと比べて利用は少ないものの、利用されている状況が把握できました。



茅ヶ崎公園体験学習センター
うみかぜテラスは、老朽化と耐震性能に大きな課題のある海岸青少年会館と福祉会館を「公共施設整備・再編計画」及び「海岸青少年会館・福祉会館複合施設再整備基本計画」に基づき、複合化により再整備し、2019年1月5日(土曜日)にオープンしました

2021年度は整備後の調査を行い、整備効果を確認しました。

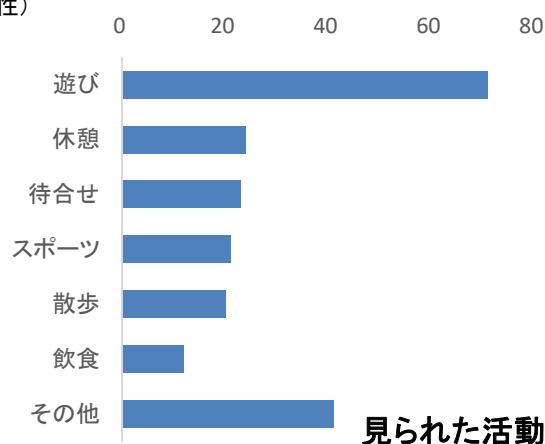
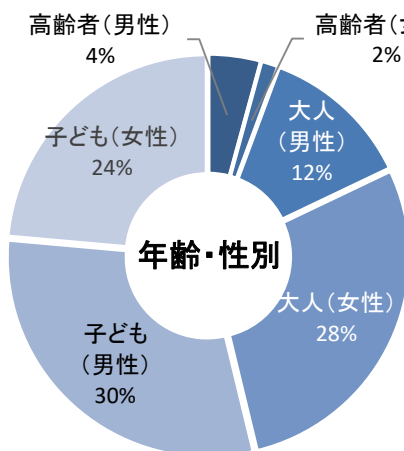
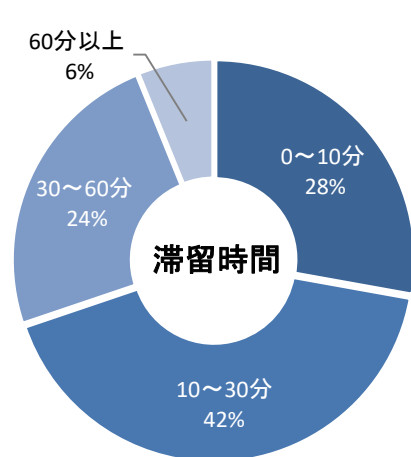
調査日及び気候

2020年

調査日	10月25日(日)	10月29日(木)
時間	10時～15時	10時～15時
天候	晴れ	晴れ
気温	20℃	22℃
風速	南南東 2.0m/s	北東 2.3m/s
日差し	強い	強い

結果概要と考察

- ・調査中、午前中は多くの人でにぎわい、運動・遊び・読書・散歩など様々な活動が見られました。また、平日の午後には近所の幼稚園帰りなどで親子の利用が多くみられました。
- ・オリーブ広場ではコート内をポールで区切ることでより同時間帯に複数グループでの利用が見られました。
- ・屋外活動テラスでは休憩や読書のための利用が多く見られましたが、ひなたの日差しが強く、日陰での利用者が多くいました。



調査結果

- スマフォ・携帯
- 会話
- 待合せ
- 休憩
- 飲食
- 遊び
- 読書
- 散歩
- △ スポーツ
- ▲ その他



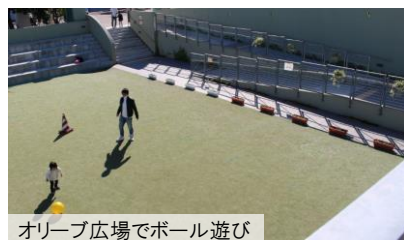
1階平面図



屋外テラスで休憩



階段でおいかけっこ



オリーブ広場でボール遊び



屋外テラスで食事



屋外テラスで読書



園路を散歩



オリーブ広場で記念撮影



園路からオリーブ広場を眺める



園路でバスの待ち合わせ



オリーブ広場でバドミントン



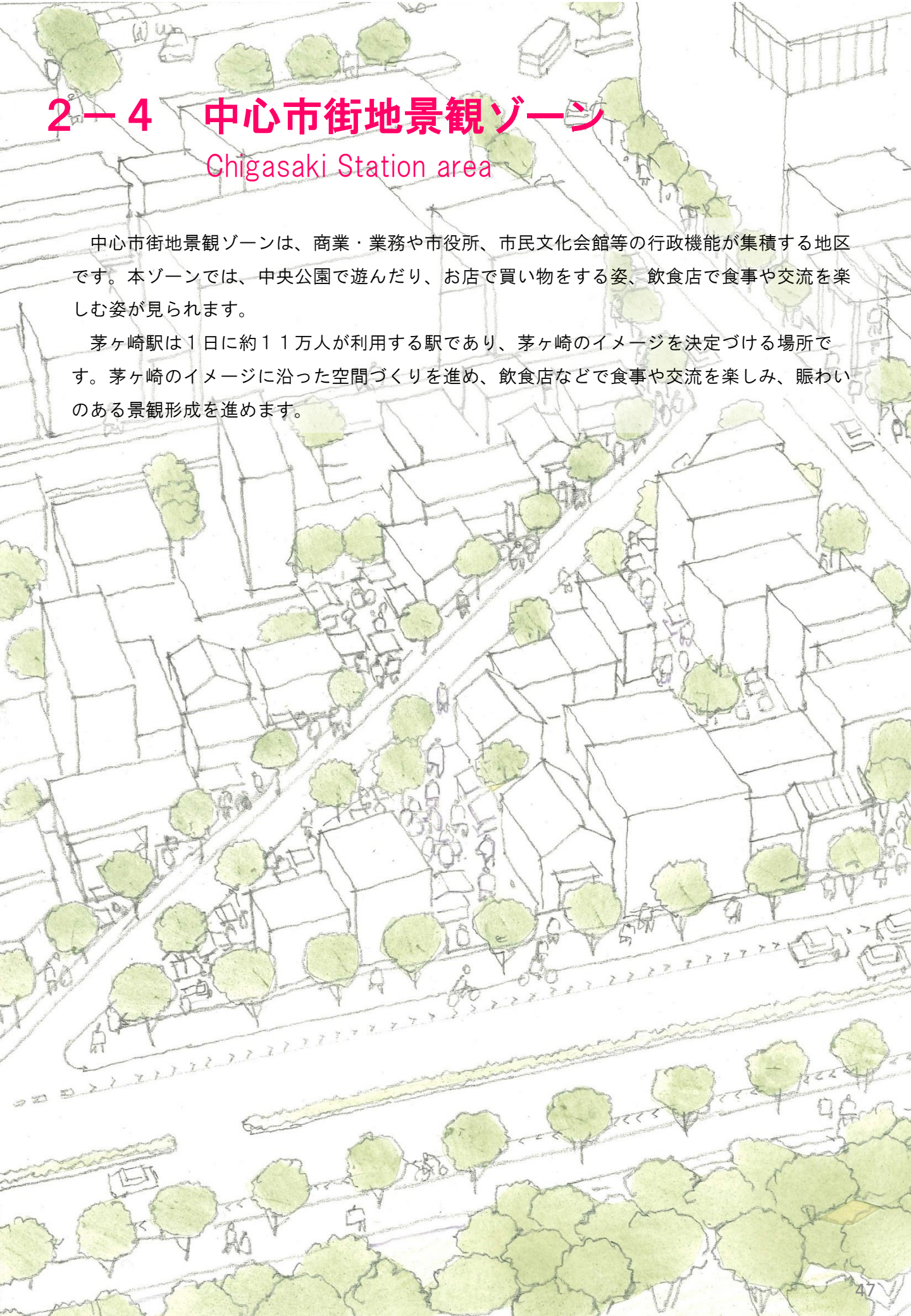
屋外テラスで休憩

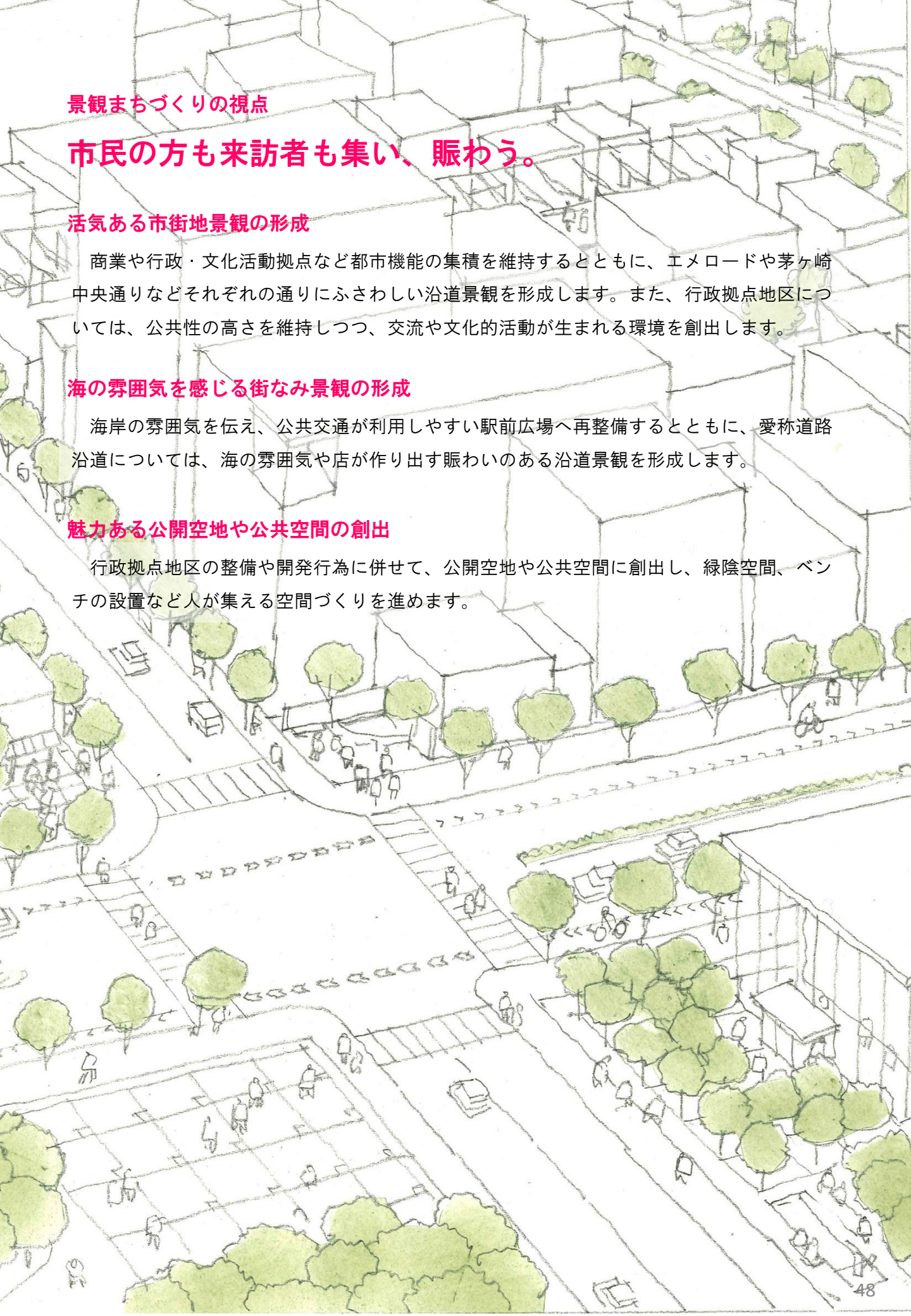
2-4 中心市街地景観ゾーン

Chigasaki Station area

中心市街地景観ゾーンは、商業・業務や市役所、市民文化会館等の行政機能が集積する地区です。本ゾーンでは、中央公園で遊んだり、お店で買い物をする姿、飲食店で食事や交流を楽しむ姿が見られます。

茅ヶ崎駅は1日に約11万人が利用する駅であり、茅ヶ崎のイメージを決定づける場所です。茅ヶ崎のイメージに沿った空間づくりを進め、飲食店などで食事や交流を楽しみ、賑わいのある景観形成を進めます。





景観まちづくりの視点

市民の方も来訪者も集い、賑わう。

活気ある市街地景観の形成

商業や行政・文化活動拠点など都市機能の集積を維持するとともに、エメロードや茅ヶ崎中央通りなどそれぞれの通りにふさわしい沿道景観を形成します。また、行政拠点地区については、公共性の高さを維持しつつ、交流や文化的活動が生まれる環境を創出します。

海の雰囲気を感じる街なみ景観の形成

海岸の雰囲気を伝え、公共交通が利用しやすい駅前広場へ再整備するとともに、愛称道路沿道については、海の雰囲気や店が作り出す賑わいのある沿道景観を形成します。

魅力ある公開空地や公共空間の創出

行政拠点地区の整備や開発行為に併せて、公開空地や公共空間に創出し、緑陰空間、ベンチの設置など人が集える空間づくりを進めます。

駅周辺や行政拠点地区は、茅ヶ崎の顔となるため、公共性を担保しつつ、景観形成を進めます。愛称道路を景観重要公共施設に指定するとともに、制度を活用し、公共性の低いサインや記念碑など設置されないように占用事項の内容を見直します。また、愛称道路を軸とした特別景観まちづくり地区の指定を検討します。

1. 2019年度～2021年度(令和元年度～令和3年度)実施事業について

本ゾーンでは、茅ヶ崎の顔となるため、公共性を担保しつつ、景観形成を進めています。当該期間中には、鉄砲道を景観重要公共施設に指定し（海岸地域景観ゾーンで詳述のため、本ゾーンの事業からは割愛します。）、茅ヶ崎駅南口広場の公共サインの整備を行いました。

評価	前期（2018～2022年度） （平成30年度～令和4年度）				後期（2023～2027年度） （令和5年度～令和9年度）			
定点観測	← 毎年度、定点観測の実施 →							
観察日誌 （過ごし方調査）	● 公共サイン	● 公共サイン	● 公共サイン 市役所前広場		● 中央公園			
地区の指定	← 茅ヶ崎駅南口地区等の指定 →							
景観資源 の指定	← 景観重要公共施設の指定（駅前広場、愛称道路） →							
公共サイン の整備	← 南口広場のサイン整備 公共サインの協議、定期点検の実施 →							
関連事業	← 茅ヶ崎駅南口広場再整備 市役所前広場整備 中央公園再整備 →							

2. 定点観測

定点観測では、茅ヶ崎駅周辺の5か所（6地点）を景観ポイントとし、茅ヶ崎駅北口から行政拠点地区を望む1か所を眺望点に設定しています。合計6か所（7地点）について、その眺望景観等が保全されているか確認します。

3. 観察日誌(過ごし方調査)

茅ヶ崎駅南口の整備前及び整備後、鉄砲道の沿道形成事業の整備後並びに市役所前広場の整備後の過ごし方調査を実施しました（鉄砲道の過ごし方調査について前述のとおり）。

1. 2019年度～2021年度実施事業について

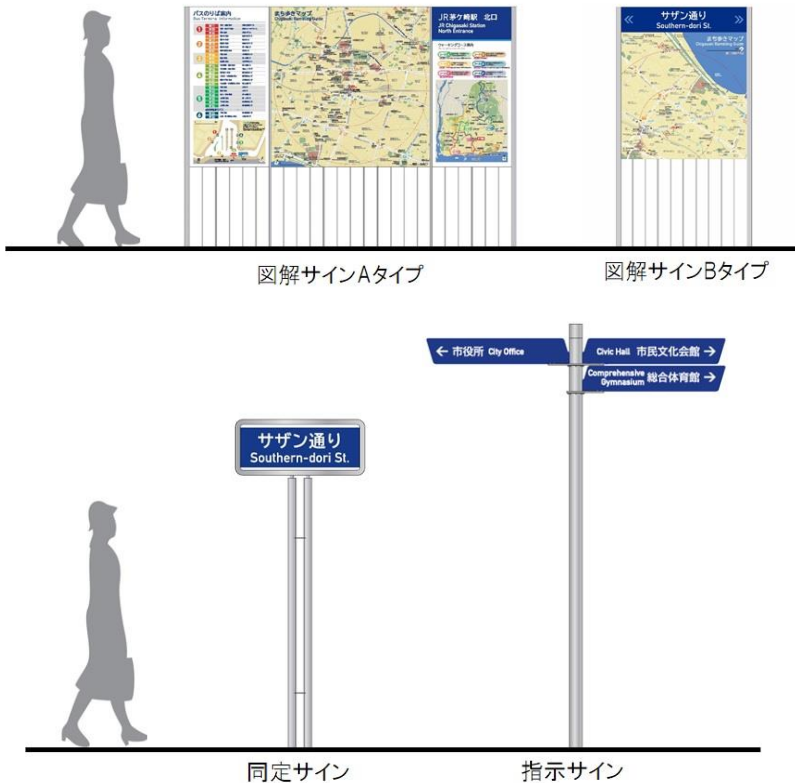
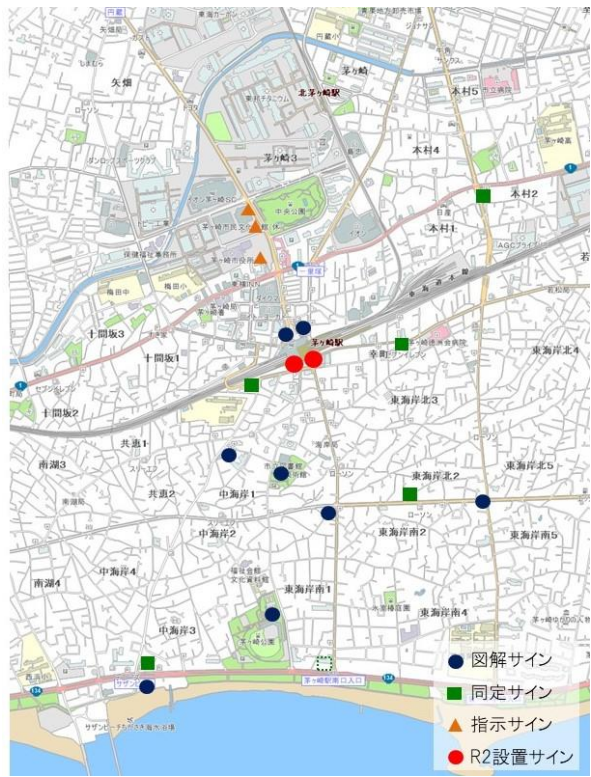
茅ヶ崎駅南口 公共サイン設置工事

Public sign around Chigasaki station



公共サインの整備状況

2016年度から茅ヶ崎駅周辺を中心に、歩行者系の公共サインの体系を構築し、駅等の施設及び歩道のある交差点に地図を用いた「図解サイン」、愛称道路の起終点又は道中に道路の名称を示した「同定サイン」、そして移動の分岐点などに施設の報告を指し示す「指示サイン」を整備しています。2020年度は、茅ヶ崎駅南口広場に図解サイン(2基)を設置しました。



過ごし方調査(2019年)の結果

本工事に先立ち、2019年度に、現状課題を把握するため、既存図解サインの利用状況を調査し、以下のことが分かりました。

- ・まち歩きマップ及び時刻表を利用していることが多く、経路・バス停位置を示すサイン、広域マップの順に利用が多いことが分かりました。
- ・サインの利用後の主な行動を見ると、バス停への移動や駅周辺の施設等への移動が多くみられ、公共サインとしては分かりやすいバスのりばの案内が必要と考えられます。
- ・既存サインは、ほとんどが西側の階段からの動線で利用されており、東側の階段を利用する方のための、サインが必要と考えられます。

新設サインのデザインと設置箇所

上記調査結果を基に、新たに茅ヶ崎駅南口に設置するサインのデザインと設置箇所を以下のように設定しました。

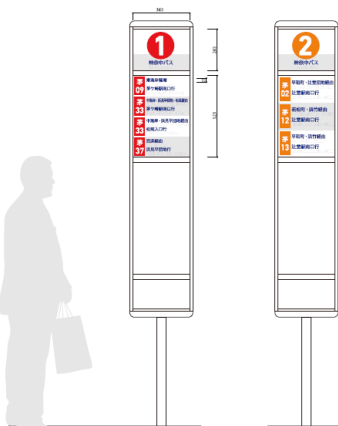
- ・デザインは、「まち歩きマップ」、「バスのりば案内」、「ウィーキングコース案内」の3種類の図解サインとしました。
- ・設置箇所は、利用者の多い西側階段付近と、新たに東側階段付近の2か所に設置しました。

サインデザインイメージ図

新設するサインのデザインイメージ図は以下のようになりました。また、サイン設置に併せて、既存のバスのりば標のデザインも新しくすることにしました。



新設図解サインのデザイン
(東側、西側に1基ずつ設置)



神奈中バスのりば標のデザイン
(バスのりば1番線、2番線)



コミュニティバスのりば標のデザイン
(バスのりば3番線、4番線、5番線)

工事結果

2021年3月に現場着手をし、①既存サインの撤去、②新設サインの設置を行いました。



2. 定点観測

ー 景観ポイントー

茅ヶ崎駅北口



2018年時点



2021年時点

▲2021年度(令和3年度)に6階建て物販店舗の建築工事が完了しました。
また、2017年度(平成29年度)以降、医療施設の新築工事が行われています。

市役所周辺(中央公園)



2018年時点



2021年時点

市役所周辺(中央公園から市役所方面)



2018年時点



2021年時点

▲2021年度(令和3年度)にホテルの新築工事が着工しました。

茅ヶ崎駅南口



2018年時点



2021年時点

▲2020年度(令和2年度)にサイン設置工事、2021年度(令和3年度)にバス停上屋建築工事が完了しました。



一眺望点一



3. 観察日誌(過ごし方調査)

茅ヶ崎駅南口 公共サイン(整備前)

Public sign around Chigasaki station

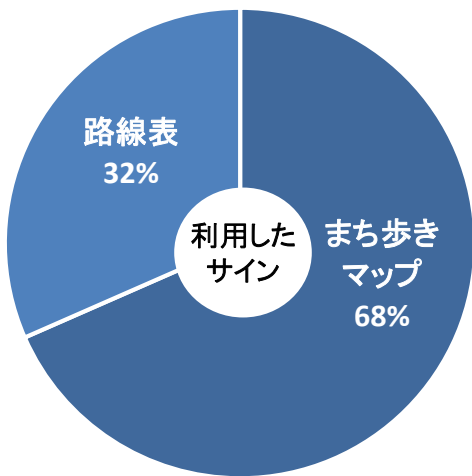
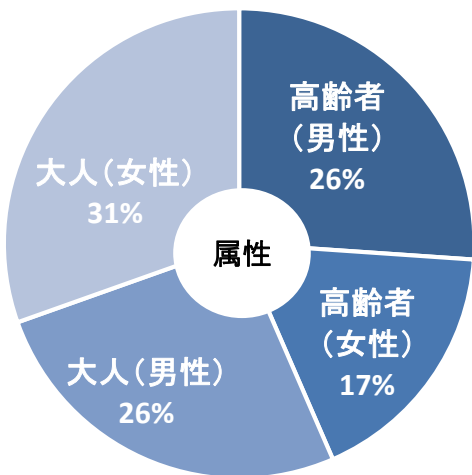


調査日及び気候
2019年

調査年月日	10月9日(水)	11月9日(土)
時間	10時～15時	10時～15時
天候	晴れ	晴れ
気温	25℃	16℃
風速	北北東 4m/s	北 2m/s
日差し	少々有り	弱い

結果概要と考察

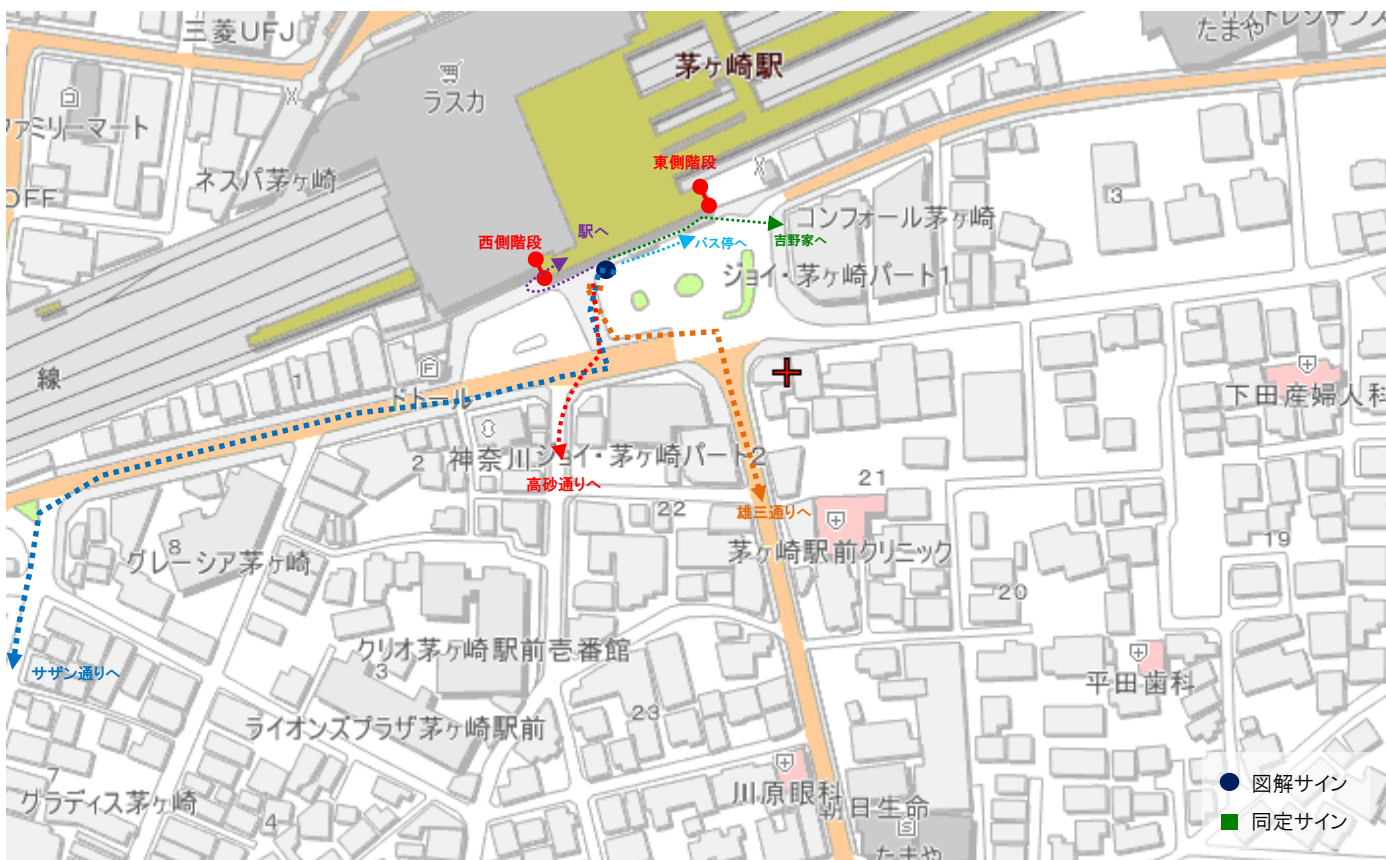
- ・まち歩きマップ及び時刻表を利用していることが多く、経由・バス停位置を示すサイン、広域マップの順に利用が多いことが分かりました。
- ・サインの利用後の主な行動を見ると、バス停への移動や駅周辺の施設等への移動が多くみられました。
- ・既存サインは、ほとんどが西側の階段からの動線で利用されており、東側の階段を利用する方のための、サインが必要と考えられます。



調査結果

茅ヶ崎駅南口駅前広場

- ・平日・休日にかかわらず、現在設置してある図解サインは調査時間中には6～10人の利用が見られました。
- ・サインの利用後の行動を見ると、バス停や駅方面への利用が多く、中には、ガイドマップを見た後に、開高健記念館やサザンビーチへむかう姿が見られることから、地元の方だけでなく観光客にも利用されていることが分かりました。
- ・利用後に、スマートフォンで施設の位置を確認する姿が見られました。
- ・ほとんどが、西側階段からの来た人の利用で、東側階段の利用者が、スマートフォンを開く姿が見られることから、改修の際には、人の動線に配慮したサインの設置が必要と考えられます。
- ・一部の利用者は、サインに近接し、マップやバスの時間を確認していることから、既存サインの文字サイズが小さいものと考えられます。
- ・今後、図解サイン改修後に効果を把握する調査を行う予定です。



茅ヶ崎駅南口 公共サイン(整備後)

Public sign around Chigasaki Station

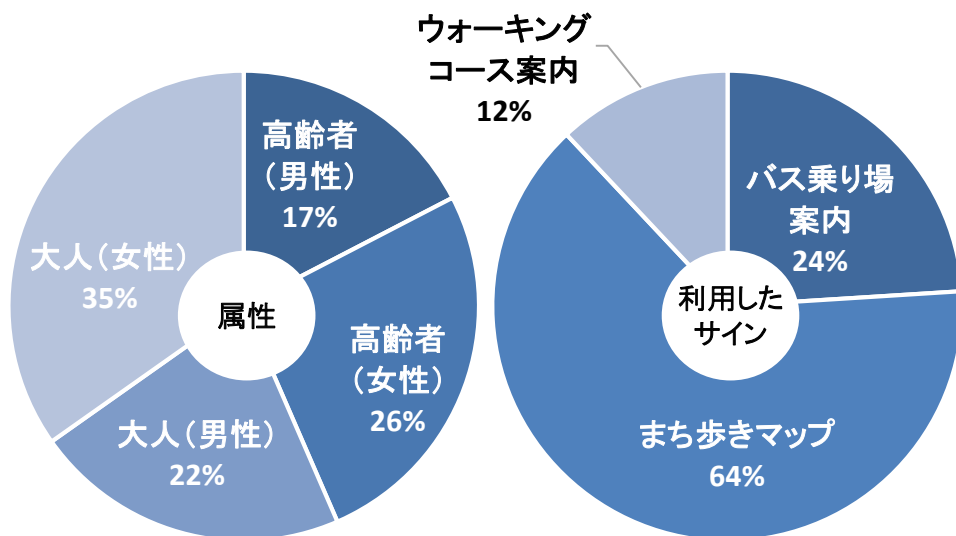


2021年3月に、茅ヶ崎駅南口広場において図解サインの改修工事を行いました。

2021年度には、今後のサイン整備に有用な知見を得るため、利用状況を確認しました。

調査日及び気候

調査年月日	2021年5月12日(水)
時間	10時～15時
天候	曇り
気温	21℃
風速	2m/s
日差し	弱い



結果概要と考察

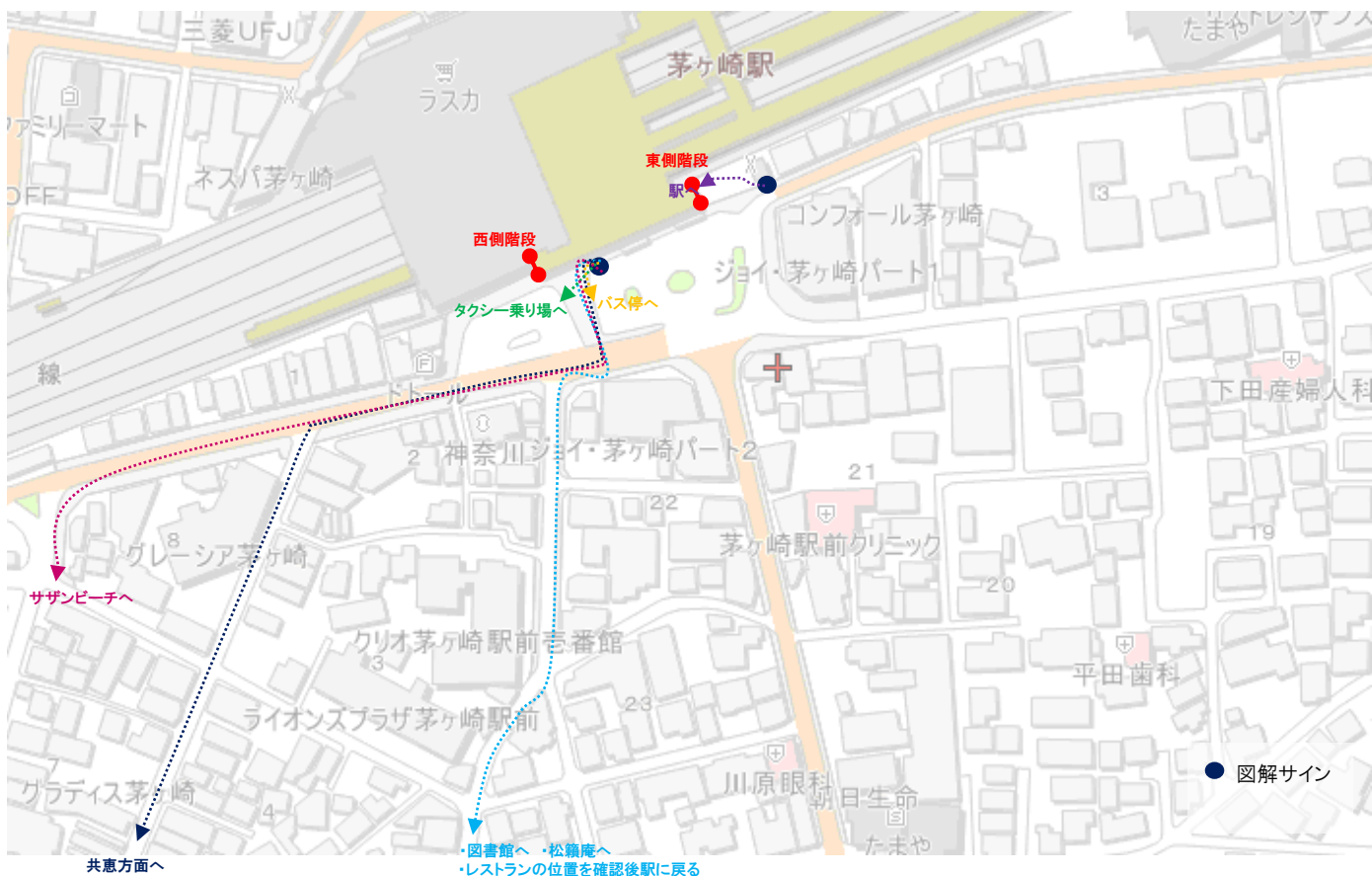
茅ヶ崎駅南口にある2基のうち、喫煙所前にあるものは駅から降りてくるときに見えづらい角度になっており、また、交通量の多い横断歩道の手前にあるため、茅ヶ崎への来訪者に認知されづらいようです。ただし、喫煙所付近で滞留している者や茅ヶ崎駅に向かう人の中には、立ち止まり内容を確認する姿が確認できたため、サインを認知することができれば多く利用されると考えられます。一方、西側の駅エレベーター付近にあるものは駅からの導線上見えやすい位置にあり、多くの人に利用されていました。

茅ヶ崎駅南口

茅ヶ崎駅南口には、図解サイン2基を設置しました。利用状況を見ると、調査時間中に西側の駅エレベーター付近にあるものは10人、東側の喫煙所前にあるものは11人の利用者が確認できました。

利用後の行動を見ると、サインの左側バス乗り場案内を確認後にタクシーに乗車したりバス停に並んだりする者、サイン中央のまち歩きマップを確認後に図書館や海まで歩いていく者、また、地図に何かメモしている者などがいました。

駅から出てきた者がサインを利用し、バスやタクシーといった交通機関へアクセスしたり、周囲の公共施設や海などの観光地を訪れたりといった行動が見られ、景観計画の基本目標である「茅ヶ崎の価値・魅力を体感できる機会を創出する」ことに寄与している状況が確認できました。



茅ヶ崎市役所前広場 Chigasaki City Hall Square



茅ヶ崎市役所前広場は、市庁舎の建て替えに伴い整備されたもので、2020年7月から供用開始されました。

当該地は災害時には災害対策スペースとして使用予定ですが、平常時にはイベントの開催も可能な、憩いの場として使用されています。

供用開始から1年を過ぎた2021年度は、整備後の調査を行い、整備効果を確認しました。

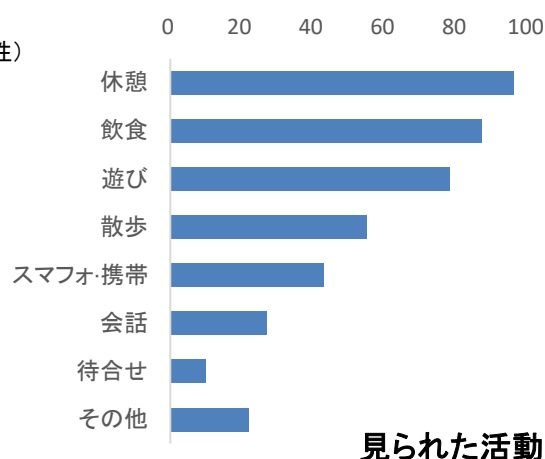
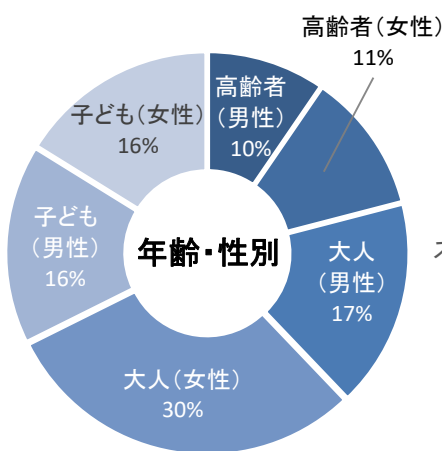
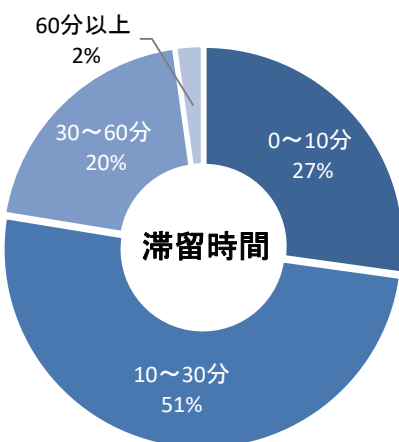
調査日及び気候

2021年

調査日	11月13日(土)	11月15日(月)
時間	10時～15時	10時～15時
天候	晴れ	晴れ
気温	18℃	20℃
風速	南東 1.5m/s	東南東 1.0m/s
日差し	普通	普通

結果概要と考察

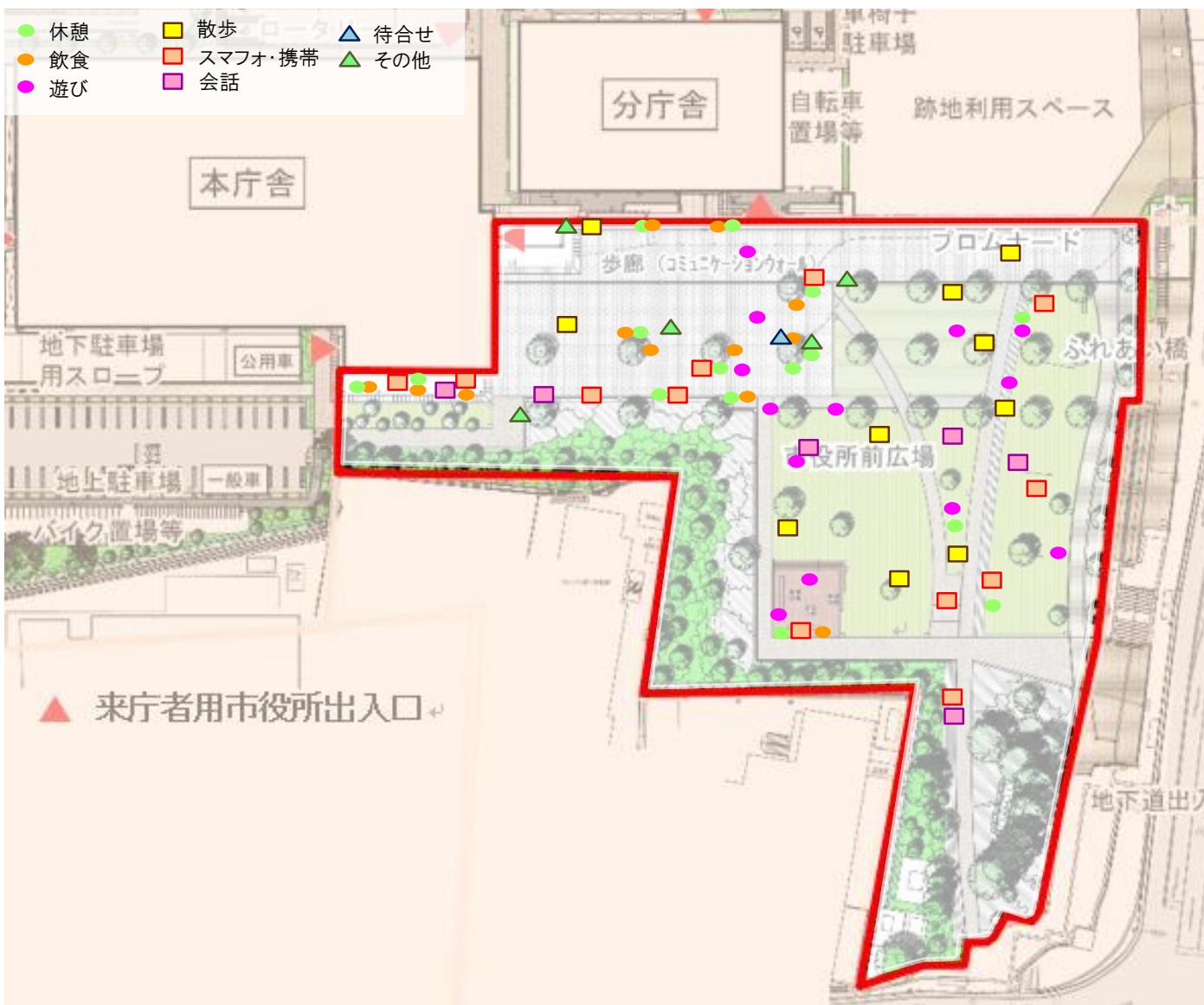
- ・休憩や飲食など、ベンチを利用し少し休んでいく利用者が多く見られた一方、子供と1時間以上遊ぶような利用者も見られ、老若男女を問わず幅広い利用者がありました。
- ・どの時間帯でも日向と日影があるため場所を選ぶことで暑さ調節ができました。
- ・11/15の観察時にはキッチンカーが出店していたこともあり、お昼時には多くのベンチが利用されていました。もともと多くのベンチがありますがイベント時には折り畳みのベンチ等により席数を増やせると過ごしやすいかと感じました。



見られた活動

調査結果

- 休憩
- 散歩
- △ 待合せ
- 飲食
- スマホ・携帯
- ▲ その他
- 遊び
- 会話



保育園の散歩



ベンチでランチ



犬の散歩



ベンチで一休み



ベンチで休憩・スマホ



追いかっこ

茅ヶ崎市景観計画年次報告書
2022年3月
発行 茅ヶ崎市
編集 都市部景観みどり課

〒253-8686
神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
電話 0467-82-1111
FAX 0467-57-8377
ホームページ：<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp>
携帯サイト：<http://mobile.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

市ホームページ

